

MOBILE SUIT MSN-06S

SINANJU STEIN

"Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER:MSN-06S, HEIGHT:22.6m, WEIGHT:23.1t, MATERIAL:GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS / 60mm VULCAN GUN×2, HIGH BEAM RIFLE×1, BEAM SABER×2, SHIELD(BEAM CANNON×1, MISSILE×4)×1

CONSTRUCTOR:ANAHEIM ELECTRONICS



GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ネット接続にアクセスする際の通信費用はお客様の責任となります。



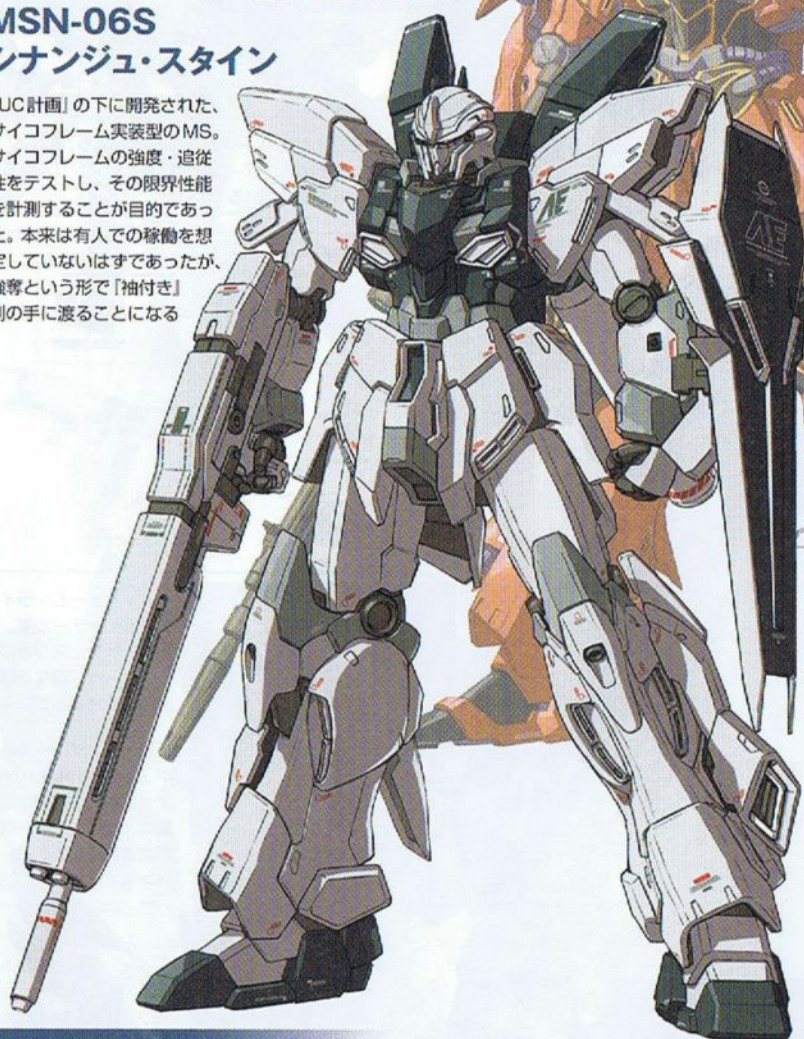
E.F.S.F. PSYCHO-FRAME PROTOTYPE MOBILE SUIT
U.C.0094 E.F.S.F.



MOBILE SUIT MSN-06S SINANJU STEIN "Ver.Ka"

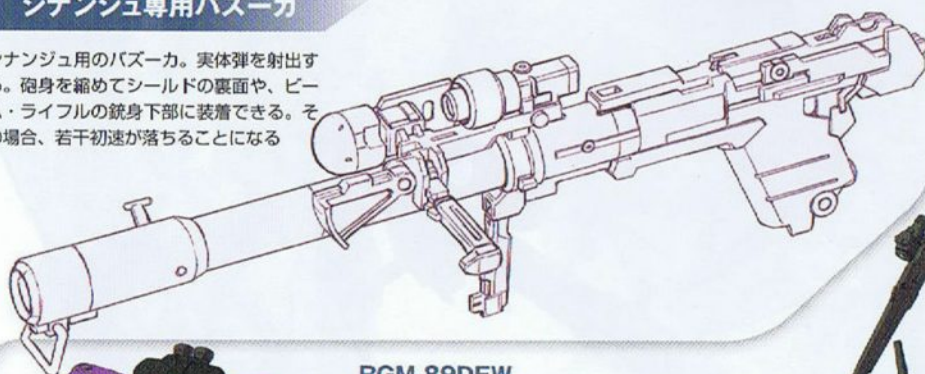
MSN-06S シナンジュ・スタイン

「UC計画」の下に開発された、サイコフレーム実装型のMS。サイコフレームの強度・追従性をテストし、その限界性能を計測することが目的であった。本来は有人での稼働を想定していないはずであったが、強奪という形で「袖付き」側の手に渡ることになる



シナンジュ専用バズーカ

シナンジュ用のバズーカ。実体弾を射出する。砲身を縮めてシールドの裏面や、ビーム・ライフルの銃身下部に装着できる。その場合、若干初速が落ちることになる



RGM-89DEW EWAC ジェガン

偵察用MS。頭部と左前腕部のセンサー・ユニット、右前腕部のカメラ・ユニットを駆使して、ミノフスキー粒子散布領域での索敵任務を行なう



YAMS-130 クラーケ・ズール

有線式遠隔兵器と大推力スラスタースポッドを備えた技術試験機。最新の準サイココミュにより、一般兵でもオールレンジ攻撃が可能となる



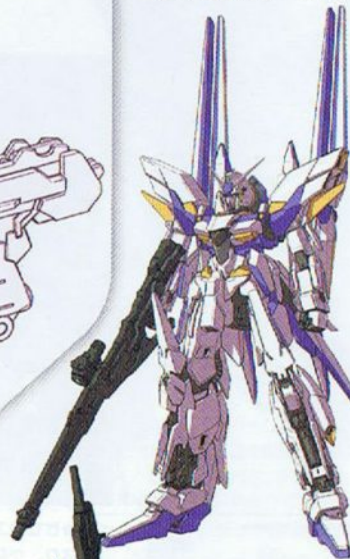
RGZ-95 リゼル (ディフェンサーbユニット)

リゼルに、中・長距離戦闘用バックパックユニット「ディフェンサー b」を換装したタイプ。サブジェネレーターを内部にもつ



MSN-001X ガンダムデルタカイ

プロト・フィン・ファンネルを装備した試作型可変MS。一般兵でもニュータイプ級の戦闘能力を発揮するサイコミュ装置(ナイトロ)を搭載している



MSN-001 デルタガンダム

MSN-00100百式の本来の姿は可変型であり、そのオリジナルの設計データを基に、《デルタ》の名を冠する可変型MSが開発された



劇中のシナンジュ

↓シナンジュは「袖付き」による強奪後、フル・フロントル専用機に姿を変えて、地球連邦軍の前に現われた。それを見た誰もが「赤い彗星の再来」を想起したという



↑アニメepisode 2で、ネル・アーガマのモニタに表示されたデータはシナンジュともシナンジュ・スタインとも異なっていた。これは連邦軍の情報部が改修後の機体から再現したものでらしい



「ガンダムUC」MSVプロジェクト

「ガンダムUC」に登場するMSを統合・体系化し、情報を発信していくのが「ガンダムUC」MSVプロジェクトである。シナンジュ・スタインもプロジェクトの一翼を担う機体として、ゲームや小説で活躍している。

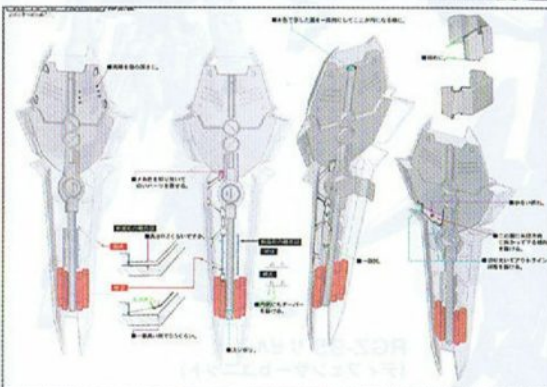


↑コックピットハッチ開閉ギミックも再現。胸部プロックも上方へ可動する

→ライトグレーの外装は、連邦系MSがもつ直線的なラインでまとめられている。胸のインテークも連邦系MSらしい部分。装飾的なものは施されていない

MOBILE SUITS MS-06S STEIN Ver.Ka

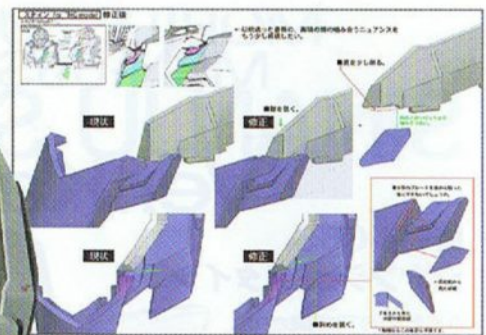
→両腕のビーム・サーベルは、収納された上腕のユニットからビーム刃を発振できる



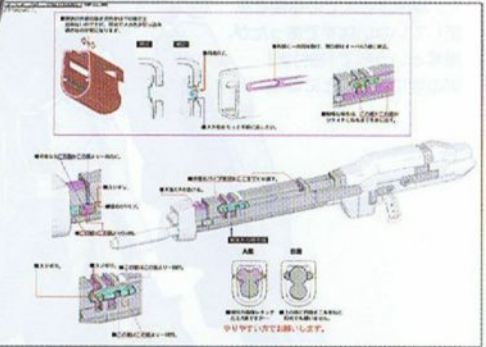
↑シールドの裏面にビーム・キャノンとミサイルを配置しているのは、Vガンダムと同じ。断面図の概念図を使って、ディテールの細かい調整が行なわれている

→ヒザは二重関節となり、かなり深くまで曲げることができる。ヒザの屈曲に合わせ、ヒザカバーも分割される

↓足周りも、つま先とカカト部分が可動。その可動に干渉しないように、足首部分の装甲も可動部が設けられている



↑襟部分にあたるパーツと胸部装甲がより“重なる”ニュアンスになるよう、パーツを分解し、別アングルから見せた図で説明を加えている



↑ハイ・ビーム・ライフルの内部ディテール案。パレルの形状や、スジボリの指示、パーツが重なる際の段差にまで言及している

←ビーム・サーベルの収納ギミックも再現。リフトアップする上腕のユニット側に、ビーム・サーベルが収納されている

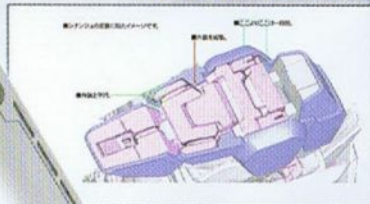


↑ヒザやふくらはぎ、裾の広がりなど、脚部はVガンダムやHi-Vガンダムのラインを色濃く受け継いでいる

→パイロットとなるフル・フロントルのフィギュアが2種付属する



←バックパックにはノズルが6基並ぶ。さらにプロペラントタンクが2本装着され、シナンジュ・スタインが高機動型であることを物語っている



↑足履はシナンジュと似たイメージだが、つま先の形状やディテールは、新規で起こされている

←バズーカはセンサーを取り外して、腰のラッチにマウントできる。機体全身に、カトキハジメ氏オリジナルデザインによるマーキングが入る



↑ハイ・ビーム・ライフル、シナンジュ専用バズーカ、シールド、ビーム・サーベルが付属

サイコフレーム搭載MSの系譜

サイコフレームは「シャアの反乱」時に、RX-93 νガンダム、MSN-04 サザビーで初めて搭載された。UC.0096年、サイコフレームはRX-0 ユニコーンガンダムにも採用。ムーバブル・フレームがサイコフレームで構成されたフル・サイコフレーム構造となり、開発者の想定を越えた性能を発揮することになる。MSN-06S シナンジュ・スタインは、フル・サイコフレームのテストを行なうために開発され、νガンダム (Hi-νガンダム) とユニコーンガンダムの間を繋ぐ機体として、また、赤いシナンジュの前身としても重要な意味をもつ



RX-93 νガンダム

RX-93-2 Hi-νガンダム

RX-0 ユニコーンガンダム

→手首パーツには「エモーション・マニピュレーターSP」を採用。武器と手のひらの双方からロックすることでしっかりと保持できるため、幅広いアクションポーズにも対応できる

※写真はバンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用しています。



↑脚部のフレキシブル・スラストは、リフトアームにより独立して可動する。ふくらはぎカバーも展開して、バーニアが露出する

シナンジュ・スタイン——人の手に余る“原石”

『機動戦士ガンダムUC』では、少年の可能性を摘み取らんとする大人の象徴として、“赤いシナンジュ”がバナージの前に立ちふさがる。“シャアの再来”を匂わせるこのMSは、複雑な履歴をもつ機体でもあった。その開発コードは「スタイン01」。「原石」とはどのようなMSなのだろうか？

Interview ; KATOKI HAJIME

フル・フロンタルの専用機であるシナンジュが、『袖付き』に強奪された実験用MSであったことは、福井晴敏氏の原作小説でも語られている。その前身にあたるのがシナンジュ・スタインだ。当初からストーリーにその存在が示唆されていたシナンジュ・スタインだが、デザインは『ガンダムUC』MSV プロジェクトで初めて公開された。このプロジェクトには、カトキハジメ氏をはじめサンライズ『ガンダムUC』スタッフも参加し、多様なバリエーション機が体系化されながら生みだされている。カトキ氏によりデザインされたMSは、現時点でもアニメ、ゲーム、コミックと、メディアを越えて活動の域を広げている。中でもPS3専用ソフト『機動戦士ガンダムUC』では『ガンダムUC』MSVのMSがDLC(ダウンロード・コンテンツ)として多数登場。さらに福井氏書き下ろしによるオリジナル追加シナリオ「エピソード0：戦後の戦争」で、初めてシナンジュ・スタイン強奪の顛末が語られることになった。

カトキ 『シナンジュ・スタインのバック・グラウンド』については、ゲーム・ムービーや書き下ろし小説で語られたとおりですが、『UC計画』には他にもミッシング・ピースが残っています。小説第3巻で、『袖付き』に奪われた実験用MSは2機であったことを、アルベルトが言及しているとか、今後とくに掘り起こされないままになるかもしれないネタですが、このスタインも元々そうした仕掛けのひとつでした。アニメ『ガンダムUC』episode 2では装飾のないシナンジュが一瞬モニターに映っていましたね。アルベルトが持っていたデータですが、あの袖無しシナンジュはスタインとは別の状態のシナンジュなんだとスタッフと話合っています。するとシナンジュのバリエーションは少なくとももう1機はあることになるでしょう。シナンジュ・スタインの存在はゲームで明確になりましたが、その周辺にはまだ謎がありますね

原作小説、アニメでは日の目を見ることがなかったシナンジュ・スタインが、ゲームのオリジナル・シナリオの一翼を担い、『ガンダムUC』の世界はまたひとつ補完された。そして次の展開として、今回のプラモデルキット化となったのである。キットは1/100スケールのMGとなりVer.Kaチームが開発を担当することとなった。1/144スケールのHGUCにはない、MGならではの特性を使って、シナンジュ・スタインの設定に準じた仕様を再現している。

カトキ 「フロンタルの赤いシナンジュとシナンジュ・スタインは外装と一部装備を換装しただけの同一機体ですので、MG Ver.Ka化に際しては内部フレームも一部にしか変更を加えていません。ガンダムでは敵に奪取されて改装される〜といった機体が登場するのが定番ですが、ガンブラでそのようなフレームの流用で、バリエーション展開をきちんとやった例は少ないと思います。HGUCのほうがコレクション性は高いのですが、外装が変わったMSをHGUCで作ると、全部新金型になってしまいます。それだともう完全に別のキットですよ。1/100で作るとフレームを流用して、パーニアやプロペラントタンクの数から配置まで同じ構造に出来ます。なにしろ同じ機体ですから」

シナンジュは小説作品用のデザインということもあり、装飾やジオン・スタイルの曲面で構成された機体となった。シナンジュ・スタインも直線であとめられてはいるものの、シナンジュが備える複雑性と禍々しさは、キットでも再現されている。通常のMGが正攻法で仕様をまとめていくのに対し、今回のような一風変わった実験にトライしていくのもMG Ver.Kaの特徴といえるだろう。

カトキ 「『機動戦士ガンダムUC カトキハジメ メカニカルアーカイブス』(角川書店)で書きましたが、

シナンジュ系はHi-Vガンダムの機体レイアウトを意識してデザインしています。Hi-Vガンダムは小説『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン』(著：富野由悠季)でアムロが搭乗しました。ご承知のとおりHi-VはアニメのVガンダムとはパラレルな関係であり、人気も高く、MG・HGUCでもキット化された機体です。それで『ガンダムUC』は「逆シャア」に続く歴史なのか？ それとも「ベルトーチカ」の続きなのか？ と問われれば「逆シャア」の続きですよ。するとここから想像出来るのは、『ガンダムUC』の歴史にもHi-Vガンダムがあって、それをベースにスタインを作ったのかもしれないという仮定と、Hi-Vガンダムはこの世界には無くて、Hi-Vガンダムの代わりにスタインを作ったのかもしれないという仮定です。よく言われる事ですがガンダムの歴史はフィルムになった部分がオフィシャルですから、フィルムに隣接したストーリーというのは、各自が自由に解釈したら良いと思うですよ。いずれ誰かがオフィシャルでHi-Vガンダムをフィルムに登場させるときまで、こうした設定は自由に空想する事が出来ます」

MGのラインナップにシナンジュ・スタインが加わったことで、サイコフレームを搭載したMSがガンブラでそろえることにもなった。Vガンダム(Hi-Vガンダム)とサザビーから始まり、シナンジュ 2種、ユニコーンガンダムにバンシィと、MSの開発システムを商品で見渡すことができるのは、バリエーション機を意欲的にリリースしつづけるガンブラならではの楽しみだ。バリエーション機の数が増えても、それぞれの個性が際立つように『ガンダムUC』MSVプロジェクトにより統合・系統化されることで開発体系のポジションが与えられている。これからも『ガンダムUC』MSVは、ホビーやそのほかのメディアを通じて発信しつづけて、『ガンダムUC』の世界を形作っていくことだろう。

機動戦士ガンダムUC 戦後の戦争

↑PS3専用ソフト『機動戦士ガンダムUC』オリジナル・シナリオ「エピソード0：戦後の戦争」のムービーでは、圧倒的な機動力で連邦軍機を蹂躞するシナンジュ・スタインが描かれている(バンダイナムコゲームス)



U.C.0094年、アナハイム・エレクトロニクス社が開発した実験用MSが、ネオ・ジオン残党軍「袖付き」側へ極秘裏に譲渡されようとしていた。その取引は“強奪”という形で、血を流すことなく完了するはずだった。しかし、地球連邦宇宙軍中央情報局所属の士官カルロス・クレイグが機密情報を持ちだして、組織から離反。取引が行なわれるクラブ級巡洋艦ウンカイに乗り込み、譲渡の阻止を試みようとする。狂いだした歯車は、赤いMSを駆って出現したひとりの男によって、さらに想定外の事態を巻き入れることになる——歴史の闇に葬られた「シナンジュ強奪事件」の全容が、ゲームオリジナル・シナリオと福井氏書き下ろし小説で語られる

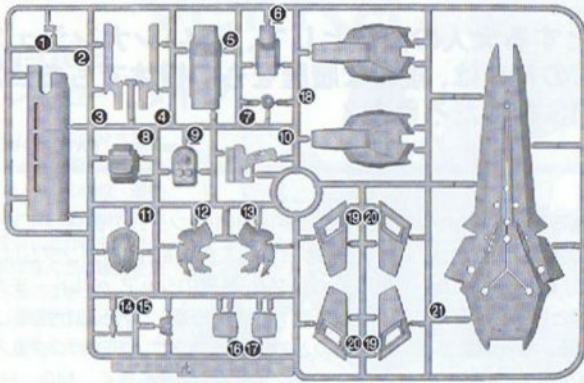


↑PS3『ガンダムUC』特装版に付く小説「戦後の戦争」のカバーイラストはカトキ氏自ら担当。角川書店から発売している単行本と同じデザインで、装画も原作小説を担当した虎哉孝征氏が手がけている

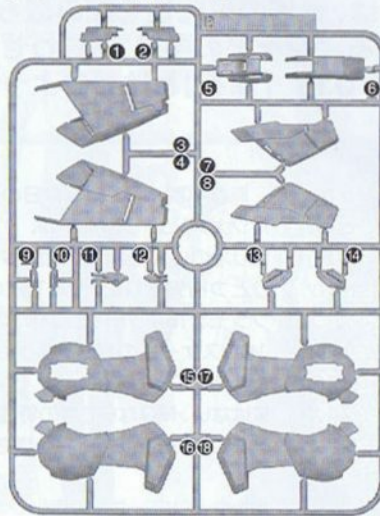
パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

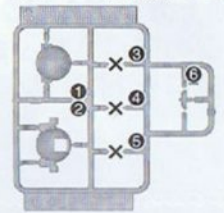
Aパーツ(ホワイト) (スチロール樹脂: PS)



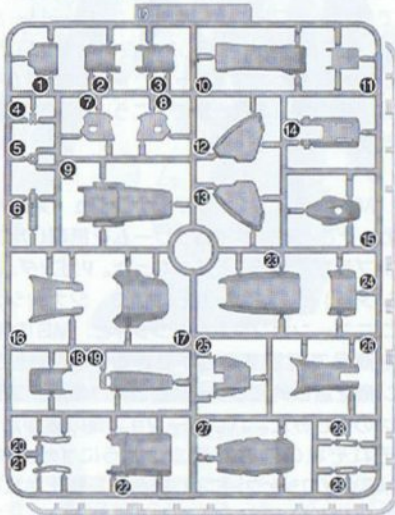
Bパーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



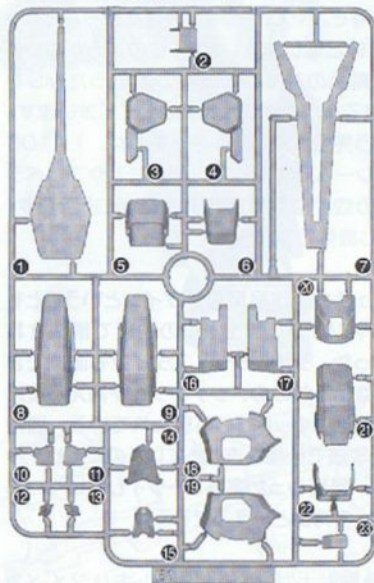
Cパーツ(クリア)
(スチロール樹脂: PS)



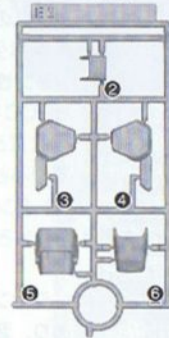
Dパーツ(ホワイト) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



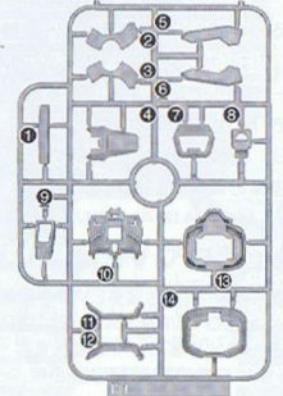
E1パーツ(ダークグレー)
(スチロール樹脂: PS)



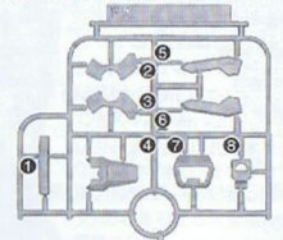
E2パーツ(ダークグレー)
(スチロール樹脂: PS)



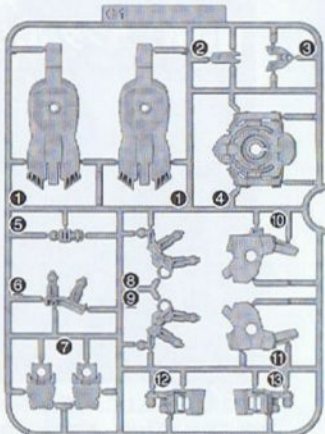
F1パーツ(ライトグレー)
(スチロール樹脂: PS)



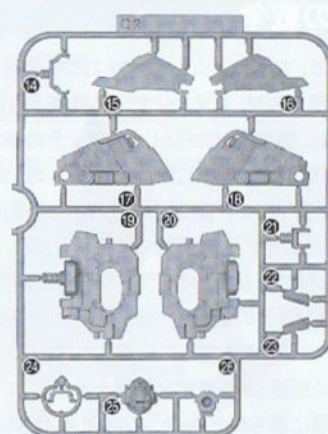
F2パーツ(ライトグレー)
(スチロール樹脂: PS)



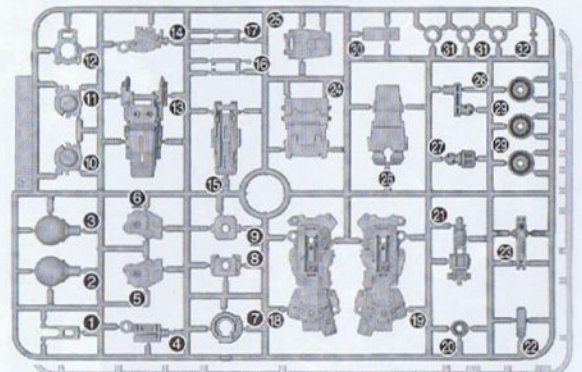
G1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



G2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)

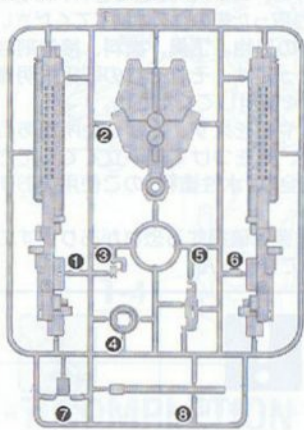


Hパーツ(グレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)

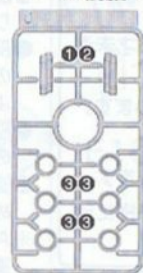


WEAPON EQUIPMENT | WEAPONS | FINAL ASSEMBLY | BACK PACK | BOTTOM | LEGS | WAIST | UPPER BODY | ARMS | HEAD | BODY | PARTS LIST

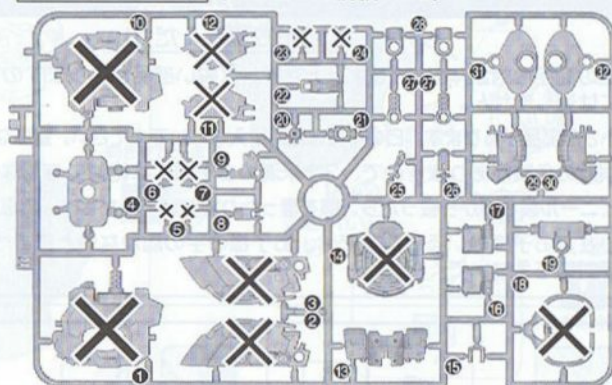
Iパーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



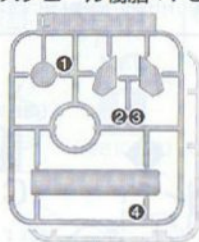
Jパーツ(レッド)
(スチロール樹脂: PS)



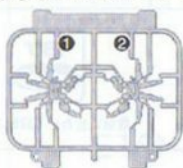
Kパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



Lパーツ(ホワイト) (×2)
(スチロール樹脂: PS)

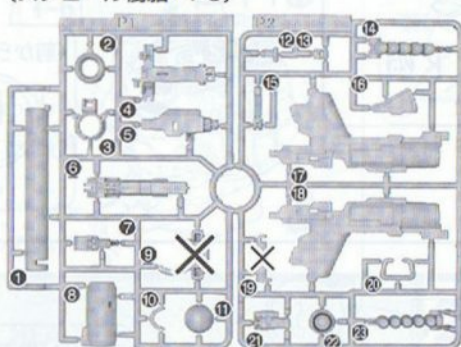


MP1パーツ(グレー)
(ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)

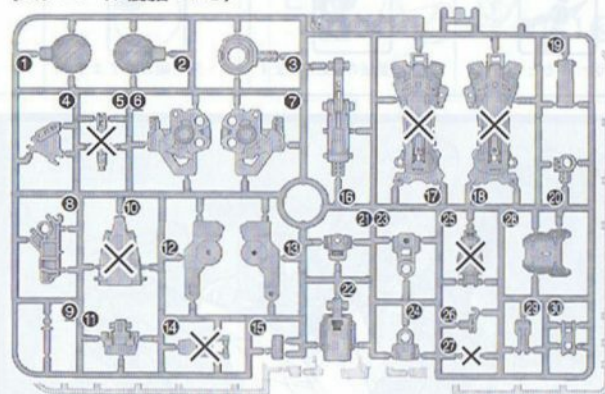


MP1 (エモーションマニピュレーター SP)は全関節可動のため、非常に精密な造りになっています。
※各指関節は図解の矢印の方向以外には絶対に動かさないでください。
※各関節を動かすときは、関節の根元部分を押さえながら、ゆっくり動かしてください。

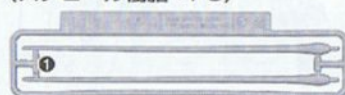
Pパーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



Nパーツ(グレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



SB1パーツ(クリアピンク)
(スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

カラーシール.....1枚
水転写式デカール.....1枚

《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記していただき、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付ておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12
(株)バンダイ静岡相談センター TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10:00～16:00
・電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	MP1①・MP1②	カラーシール	水転写式デカール	その他の部品
部品代	200円	各300円	60円	200円	各60円
郵送料	200円	120円	80円	80円	120円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード 0181337

1/100SCALE MGシリーズ
MSN-06S シナンジュ・スタイン(Ver.Ka)

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む) (こわした/なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 () (才)
R2188965 '13.02

2013.02/SA・ON

※コピー使用可

注意

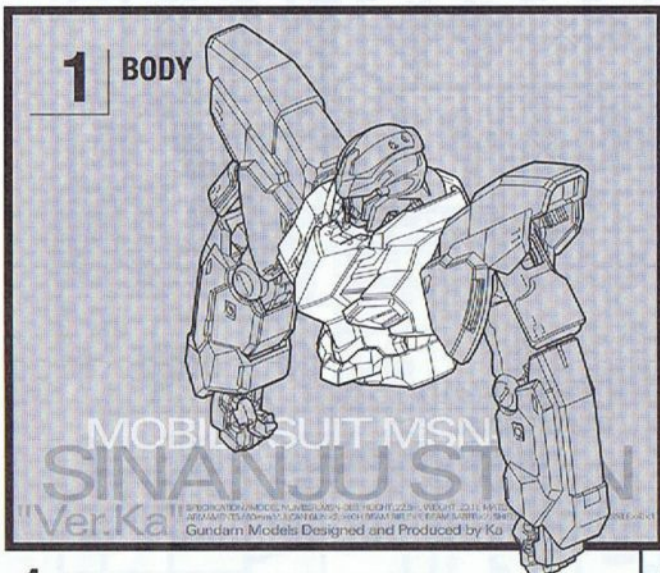
必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

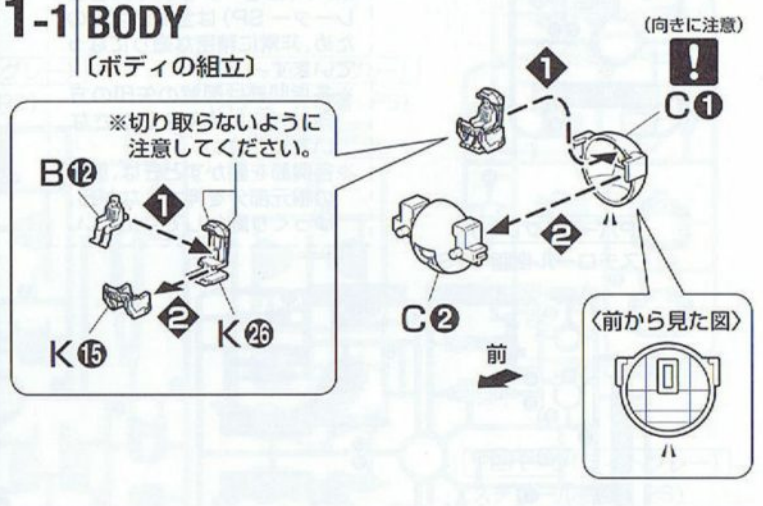
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

 ・接着をするところ	 ・シールの番号	 ・デカールの番号	 ・反対側に取り付けるパーツ	 ・両側に同じパーツを取り付ける	 ・向きに注意して取り付ける	 ・ビスの締めすぎに注意
 ・切り取る場所	 ・部品を数値の個数作ります	 ・先に組み立てます	 ・後に組み立てます	 ・数値に合わせて回転させます	 ・どちらかを選んで取り付ける	 ・反対側も同じように動かします

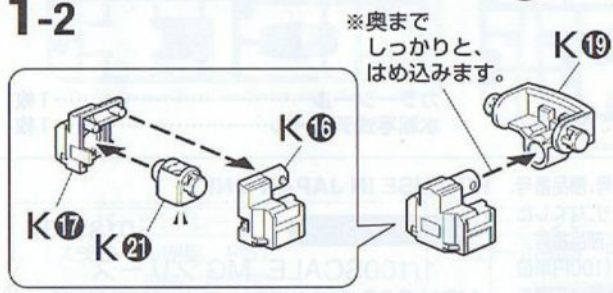


1-1 BODY

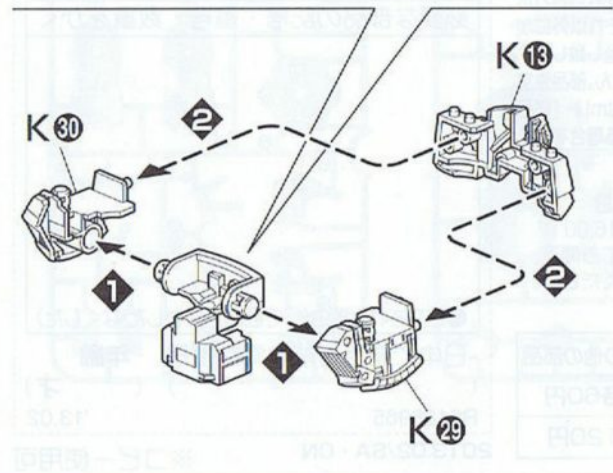
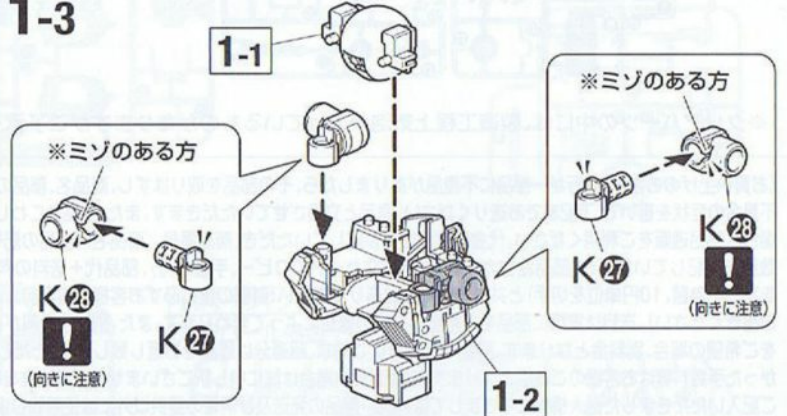
〔ボディの組立〕



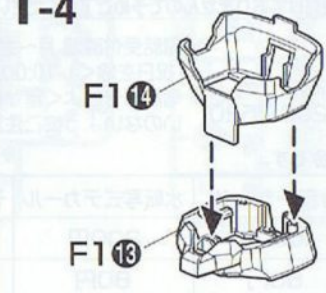
1-2



1-3



1-4



1-5



1-6

1-3
1-5
1-4

E112
E113
G14

前

(後に組む)

E120

向きをかえます。

K22
※きれいに切り取ります。

K20
! (向きに注意)

〈横から見た図〉

1-7 COMPLETION

(ボディの完成)

G15
大きい方が下
! (向きに注意)

〈横から見た図〉

F112
※きれいに切り取ります。

F111
※きれいに切り取ります。

1-6

(反対側に取り付ける)

E110

E111
※きれいに切り取ります。

前

前

E119
E118

※きれいに切り取ります。

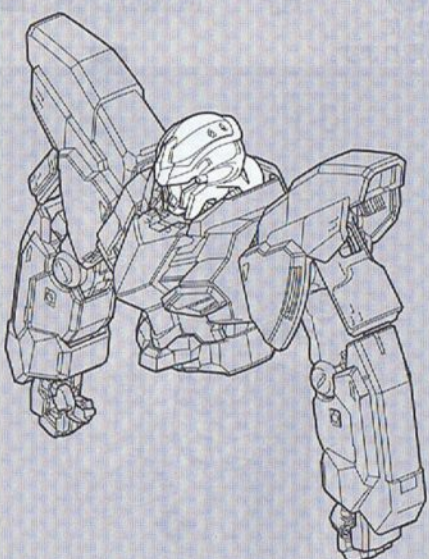
B13 ! : B14 (向きに注意して反対側に取り付ける)

〈前から見た図〉

E114
G13

E115
K25

2 HEAD



MOBILE SUIT MSN-06S
SINANJU STEIN
"Ver. Ka"
Gunpla Model Designed and Produced by Ka

2-1 HEAD

(頭の組立)

G225
A15
C6
! (シール)

※切り取らないように注意してください。

A13
A12
H32

2-2 COMPLETION

(頭の完成)

A11
A14
2-1
G226
G224
3 (選んで貼るシール)
※お好みで貼ってください。

3 RIGHT ARM **4 LEFT ARM**

MOBILE SUIT MECHANICAL DESIGNER'S
SINANJU SIN
"Ver.Ka"
Copyright © 2004 Bandai Namco Entertainment Inc. All Rights Reserved.
Gundam Models Designed and Produced by

3-1 ARMS
〔腕の組立〕

x2
(2個作る)

H2 H3 H7 H8
穴のある方が下

3-2

x2
(2個作る)

〈上から見た図〉
F17 (F27) H8

(向きに注意)
H8

※きれいに切り取ります。
(F27) F17
(向きに注意)

〈上から見た図〉

3-3

(向きに注意)
H9

x2
(2個作る)

〈上から見た図〉

3-2

3-4

(後に組む)
x2
(2個作る)

H4 H10 H11 H14

前

向きをかえます。

〈前から見た図〉

(向きに注意)
H17

前

前

H16

前

3-5

x2
(2個作る)

D3 (先に組む) D2 H6 H5

3-4

前

D7 D8 D11

※きれいに切り取ります。

3-6

x2
(2個作る)

D10 H15 H1

前

〈前から見た図〉
(向きに注意)

※切り取らないように注意してください。

〈内側から見た図〉
※H1はしっかりとめ込んでください。

○ ×

3-7

x2
(2個作る)

F16 (F26) H16

3-6

前

※きれいに切り取ります。(F26)

3-5

3-1

バチン

3-3

3-8 HANDS

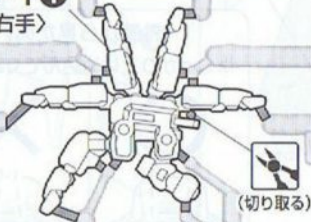
(手の組立)

※○部分の各関節が可動します。
 ※各指関節(■部分)を動かすときは必ず矢印の方向に動かしてください。逆方向に動かすと破損する恐れがあります。

※■部分を切り取ります。

※左手(MP1②)も同じように切り取ります。

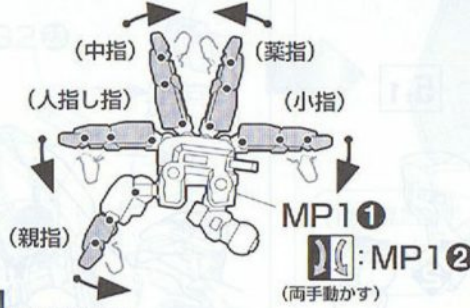
MP1①
 (右手)



(切り取る)

〈完成画像〉

※説明のため、
 手甲パーツは
 外してあります。



向きをかえます。

※左手も同じように動かします。

※各指関節を動かす時は関節の根元部分を押さえながらゆっくり動かしてください。



90°
 (90°回す)

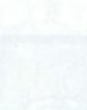


3-9

3-8



(両手動かす)



90°
 (90°回す)

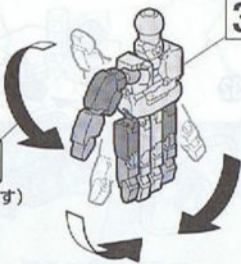
3-10

3-9



(両手動かす)

180°
 (180°回す)



A17

A16

(反対側に取り付ける)



3-11 RIGHT ARM

(右腕の組立)

3-7

3-10
 (右手)



4 LEFT ARM

(左腕の組立)

3-7

3-10
 (左手)



5 UPPER BODY

5-1 UPPER BODY

(上半身の組立)

×2
 (2個作る)

D9

H13

H12



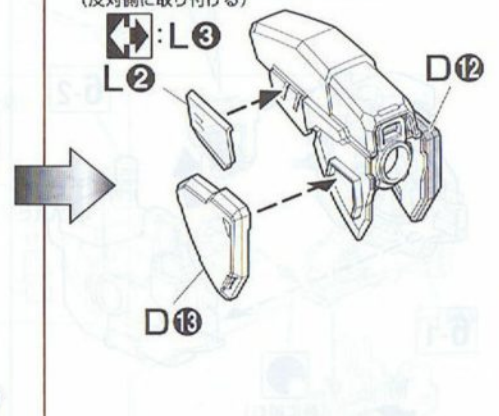
(反対側に取り付ける)

L2

L3

D12

D13

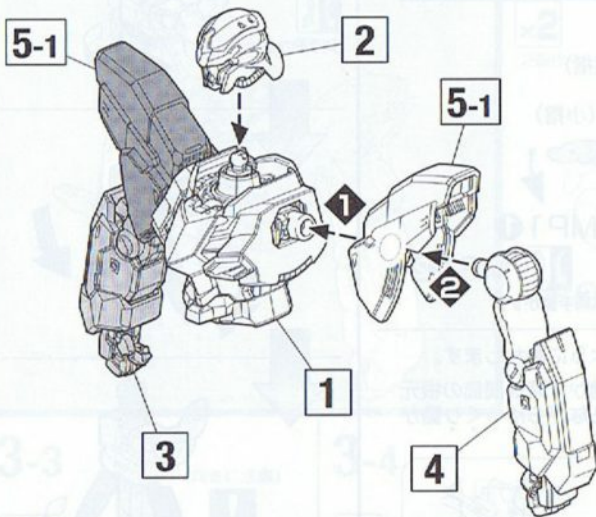


MOBILE SUIT MS SINANJU STEIN
 Ver.Ka

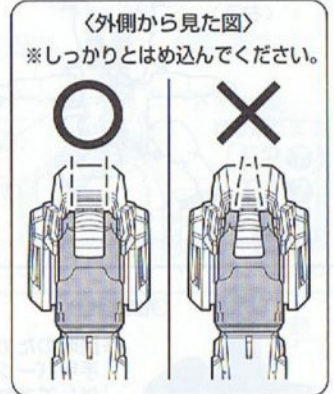
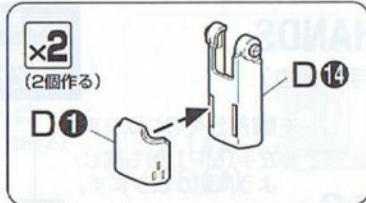
PARTS LIST BODY HEAD ARMS UPPER BODY WAIST LEGS BOTTOM/BACK PACK FINAL ASSEMBLY WEAPONS WEAPON EQUIPMENT

5-2 COMPLETION

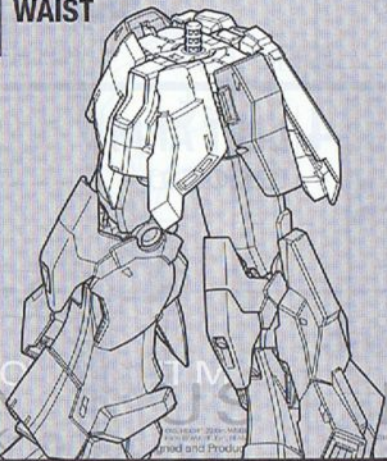
〔上半身の完成〕



(後から両側取り付ける)



6 WAIST



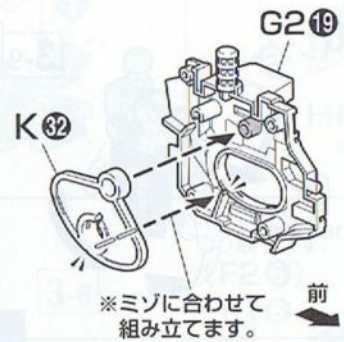
6-1 WAIST

〔腰の組立〕



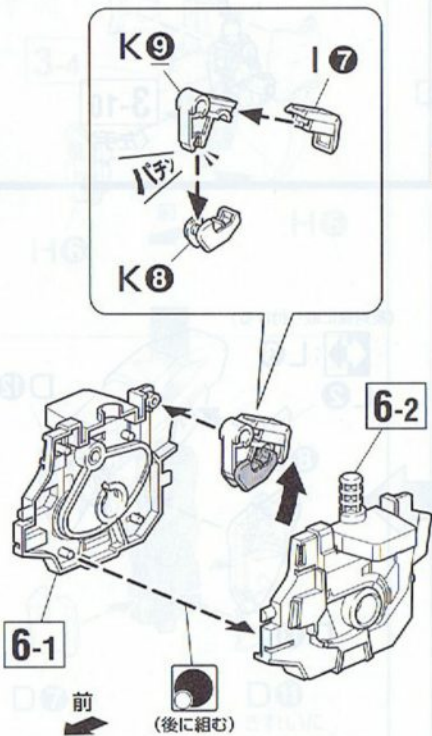
※ミゾに合わせて組み立てます。

6-2

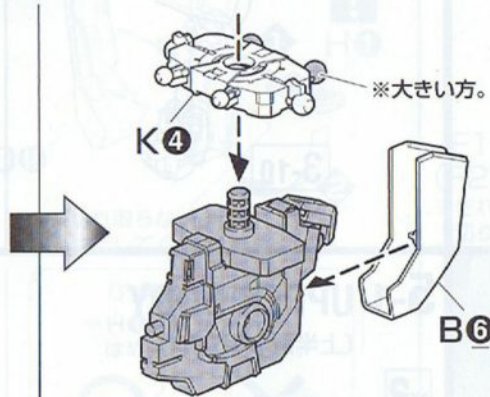


※ミゾに合わせて組み立てます。

6-3



前 (後に組む)

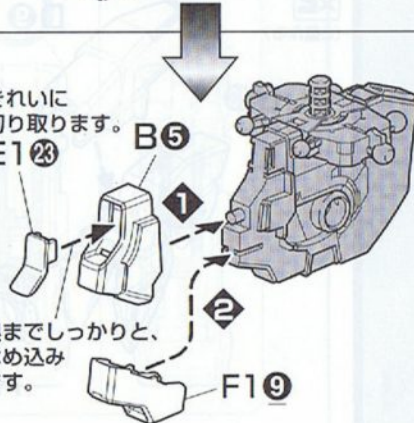


※大きい方。

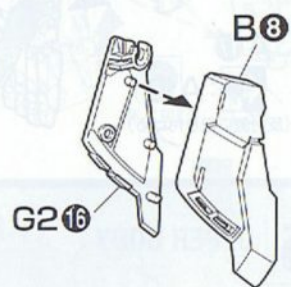
※きれいに切り取ります。

E1

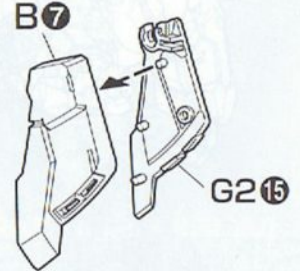
※奥までしっかりと、はめ込みます。



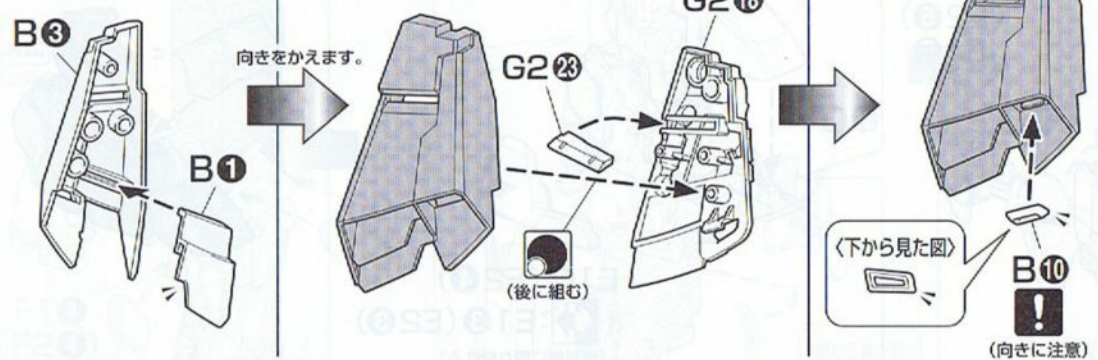
6-4



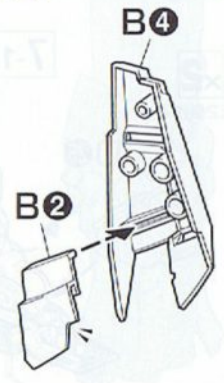
6-5



6-6



6-7



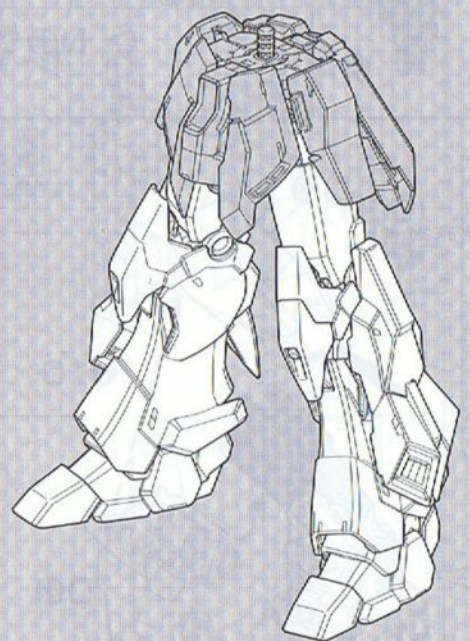
6-8 COMPLETION

〔腰の完成〕



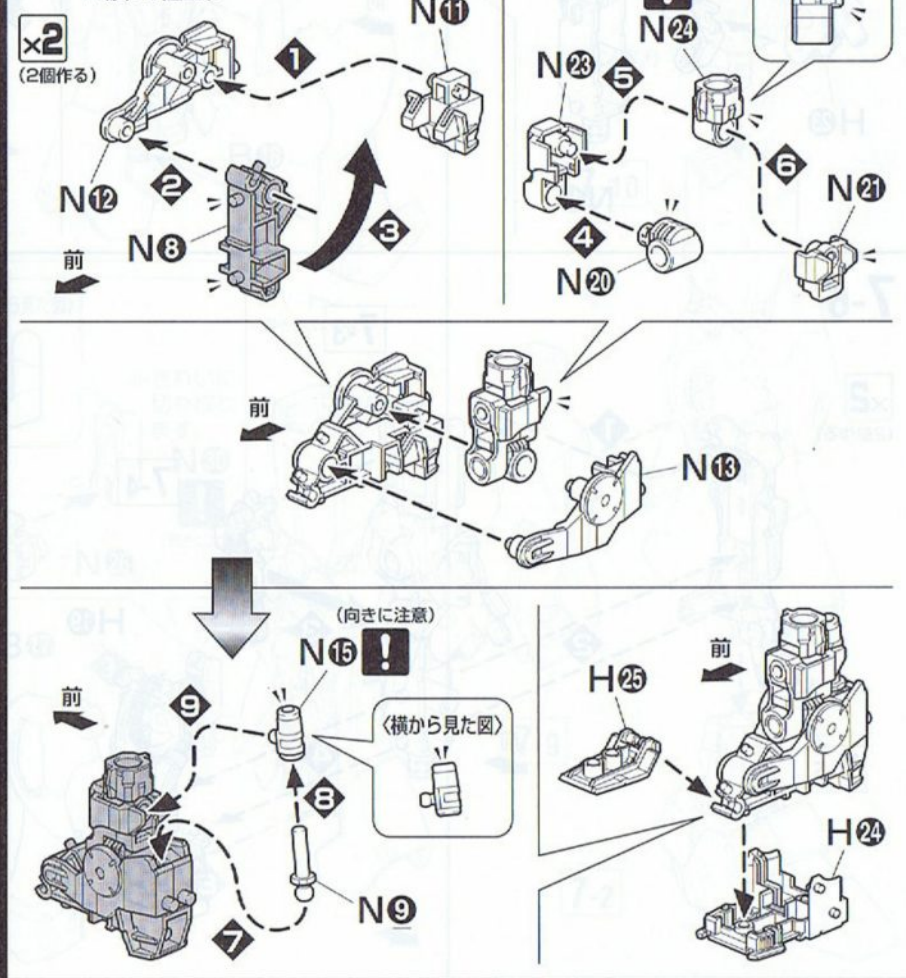
7 RIGHT LEG

8 LEFT LEG

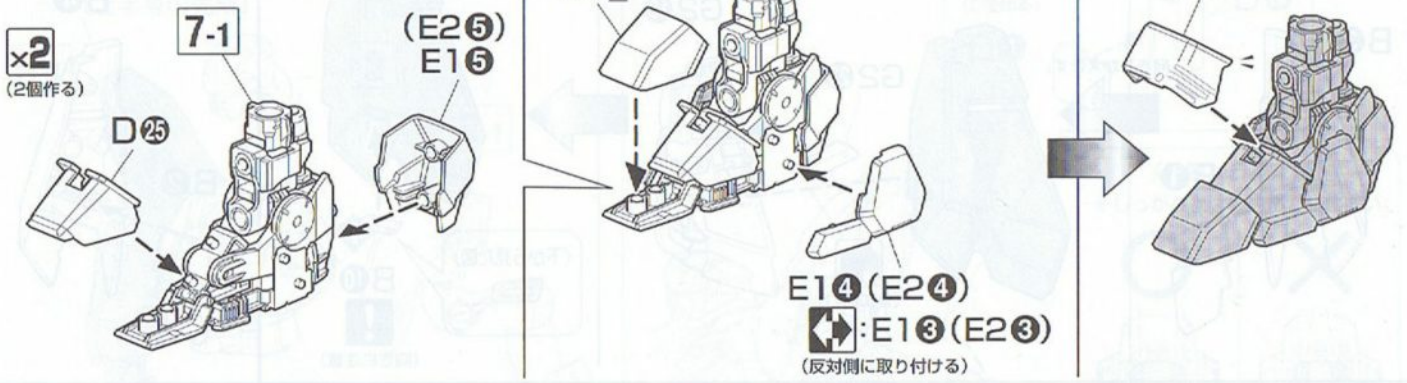


7-1 LEGS

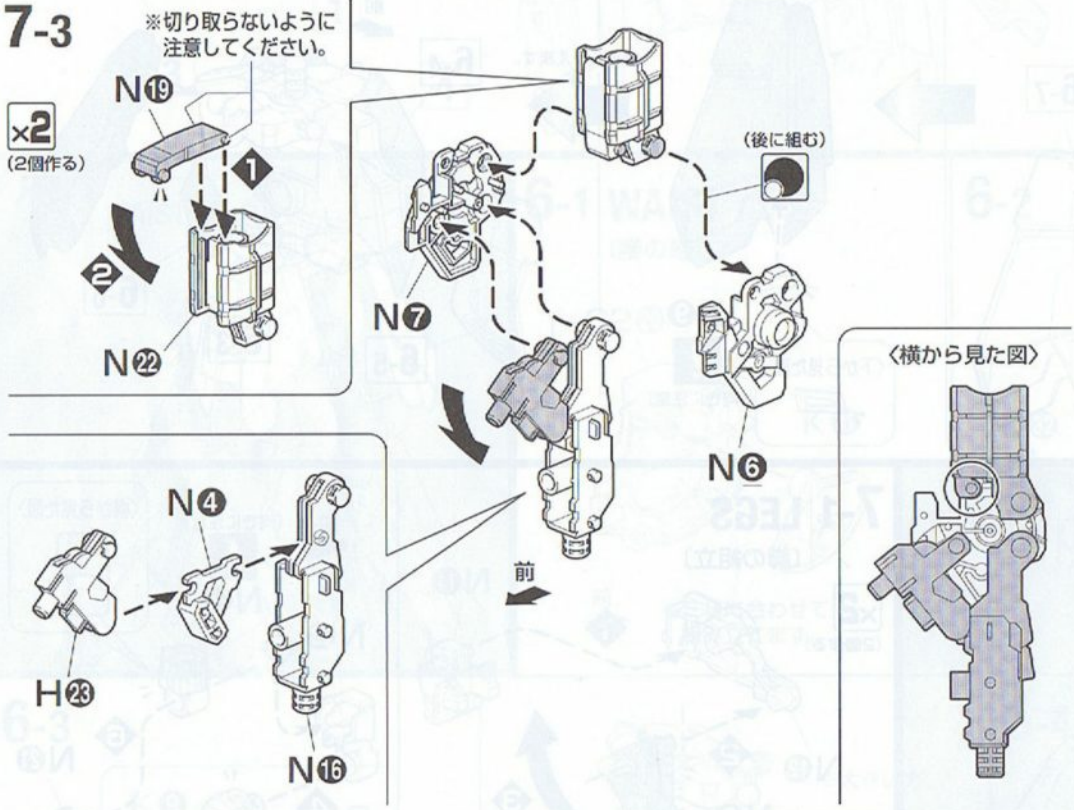
〔脚の組立〕



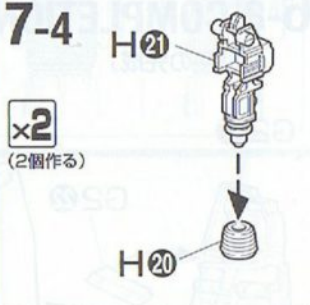
7-2



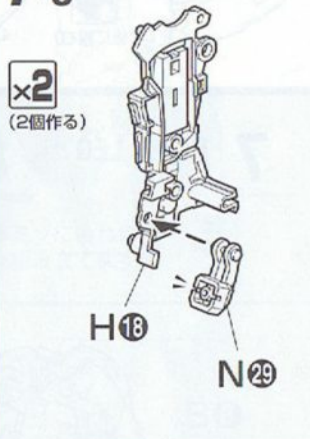
7-3



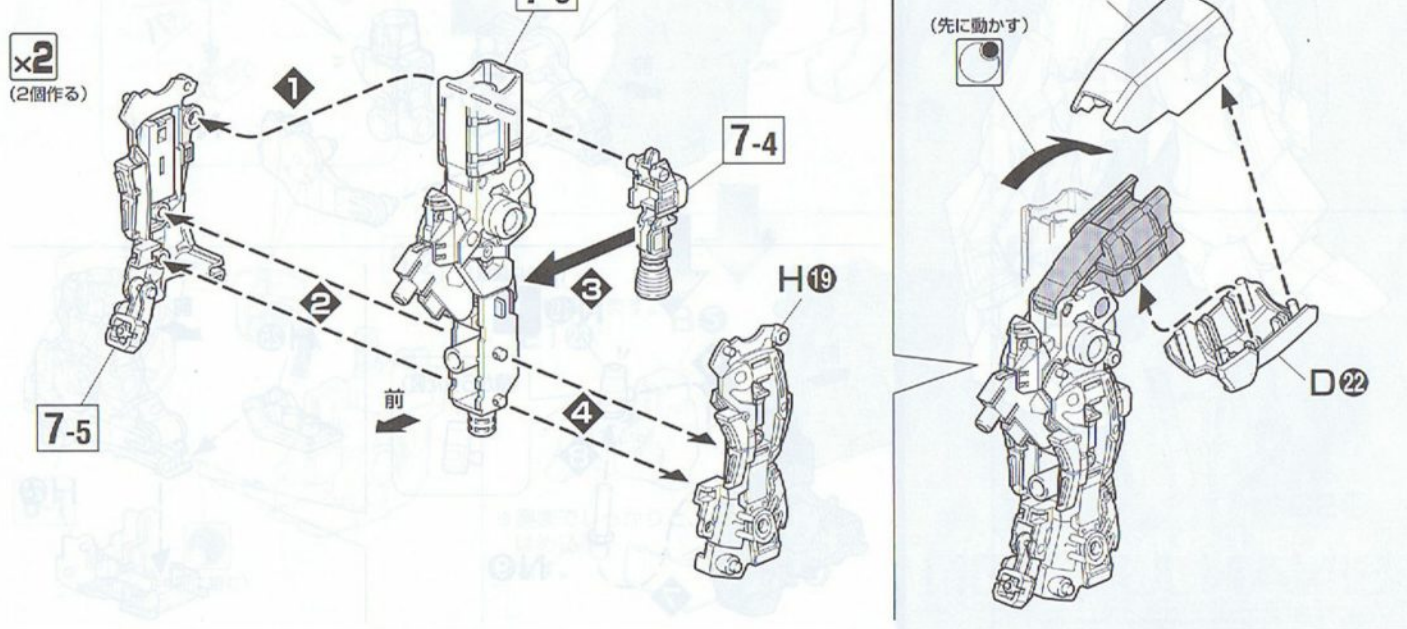
7-4



7-5



7-6



7-7

x2
(2個作る)

F1④ (F2④)
H②
※きれいに切り取ります。

F1③ (F2③)
F1② (F2②)
(反対側に取り付ける)

7-6

D16
D26
D20 ! : D21
(向きに注意して反対側に取り付ける)

前

〈前から見た図〉

D15
D17
N23

7-8

x2
(2個作る)

7-7
(後に組む)

前

D18
D19

7-10 RIGHT LEG

(右脚の組立)

7-8
(先に組む)

※きれいに切り取ります。
H③①

前

B18

〈前から見た図〉

※きれいに切り取ります。
N③① !
(向きに注意)

向きをかえます。

N26
B17
1
2
3

前

7-11 COMPLETION

(右脚の完成)

(後に組む)

N①
N③
N②

※長いピンの方

7-10

7-9

7-2

バチン

7-9

x2
(2個作る)

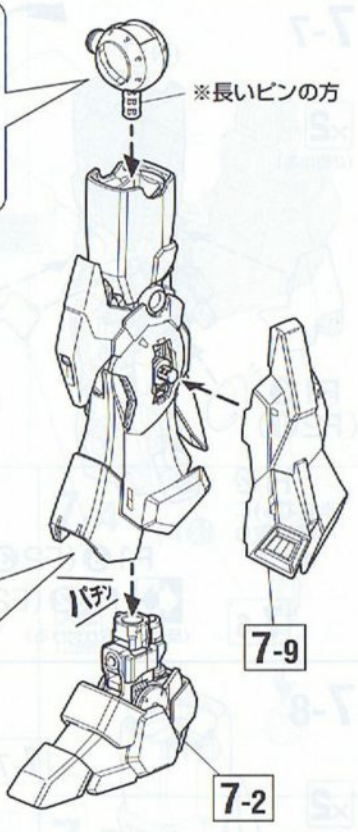
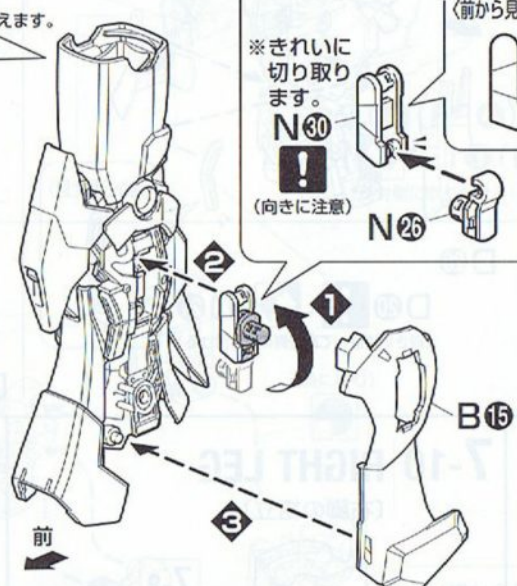
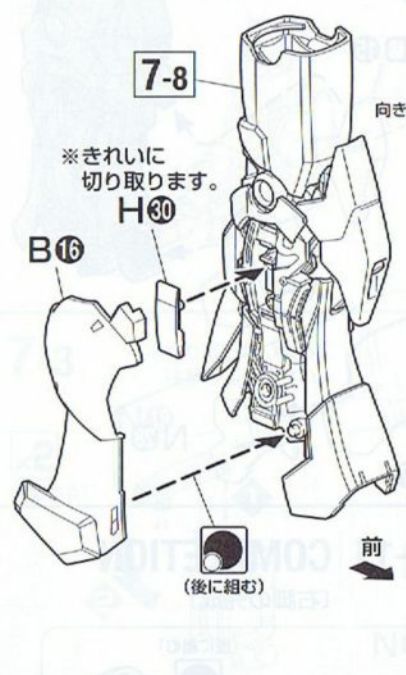
A18
(F2①)
F1①

G1①

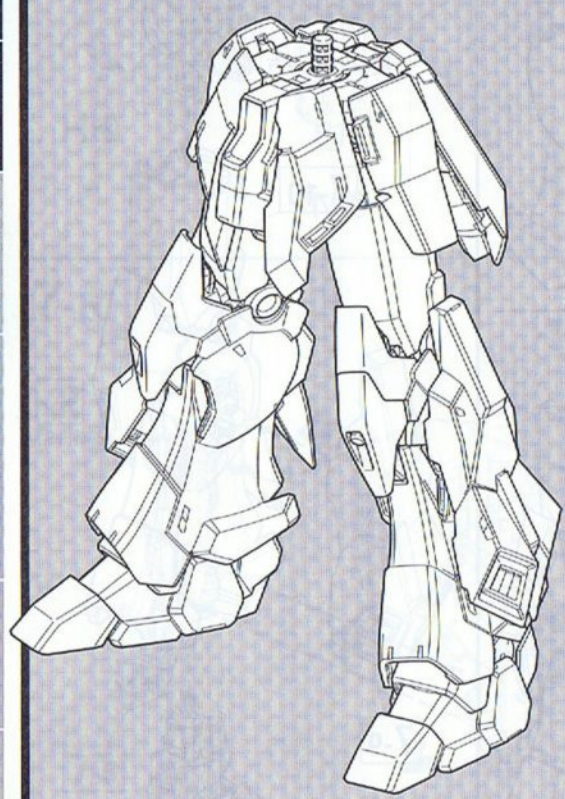
A19
A20

8 LEFT LEG

(左脚の組立)

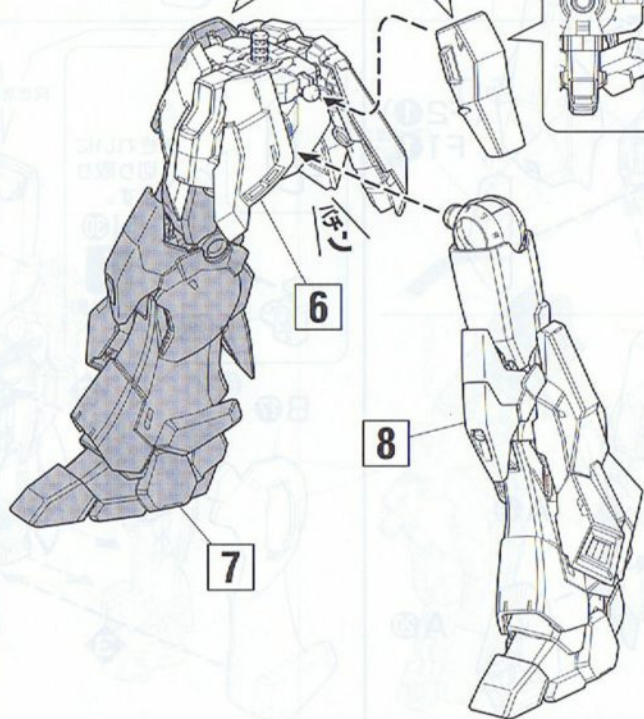
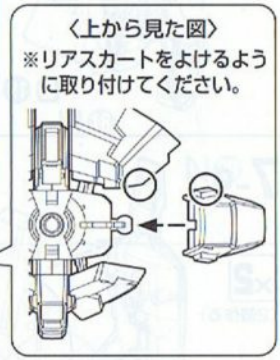


9 BOTTOM



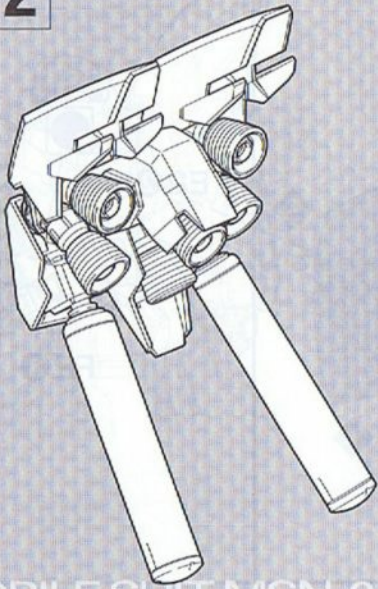
9 BOTTOM

(下半身の完成)



MOBILE SUIT MSN-06S
SINANJU STEIN
Ver. Ka

10 12 BACK PACK

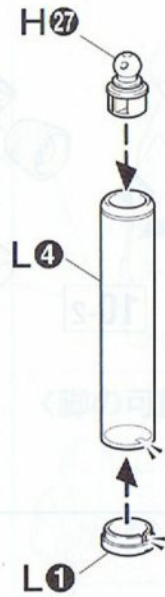


MOBILE SUIT MSN-06S
SINANJU STEIN
Ver. Ka

SPECIALLY DESIGNATED PRODUCT FOR THE UNOFFICIAL MODELING CONTEST. ALL RIGHTS RESERVED. ©2011 BANDAI HOBBY DIVISION. GUNDAM MODELS DESIGNED AND PRODUCED BY KAI.

10-1 BACK PACK
(バックパックの組立)

×2
(2個作る)



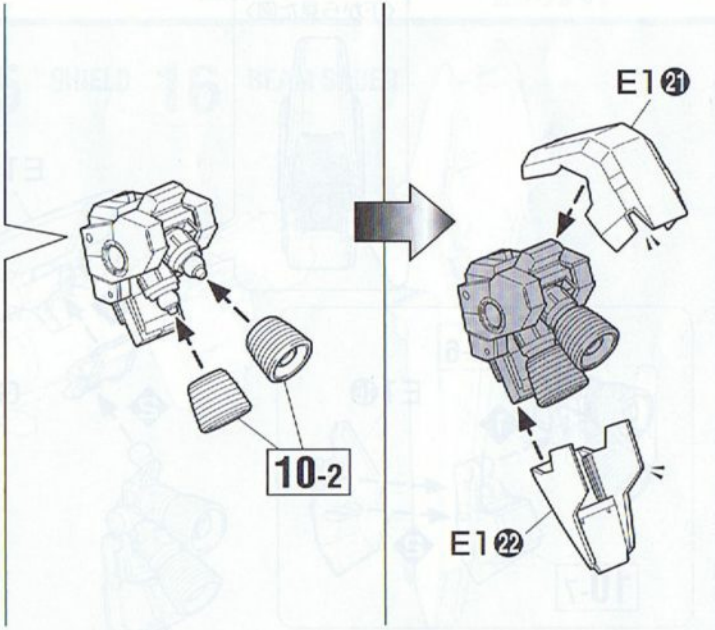
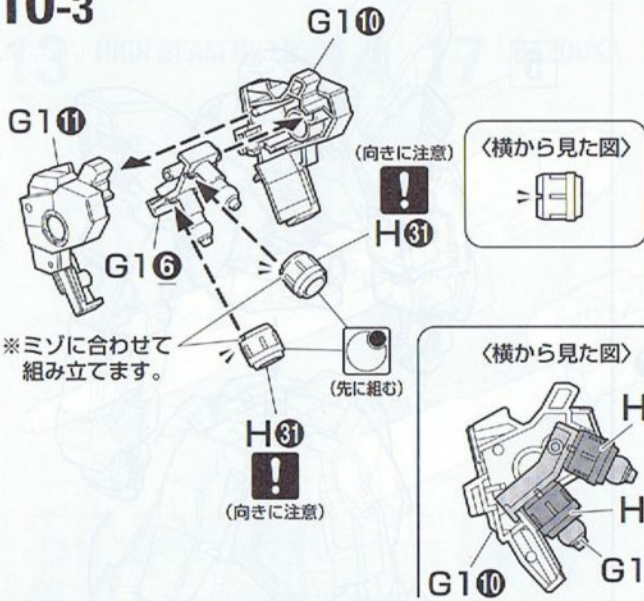
10-2

×6
(6個作る)

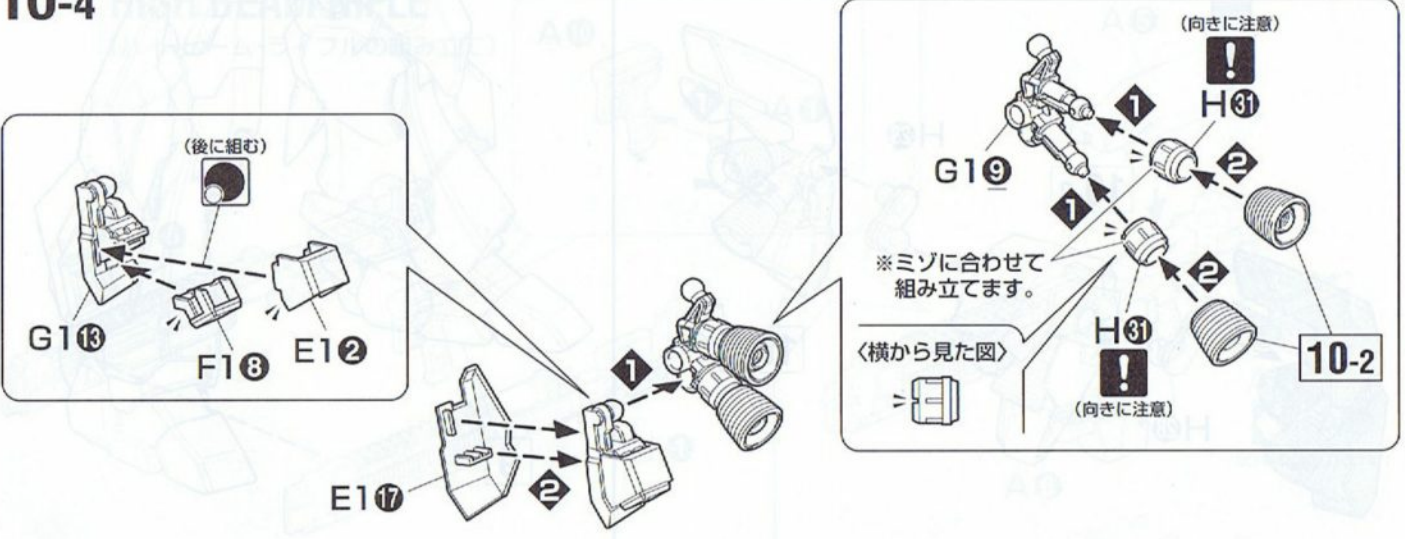
※きれいに切り取ります。



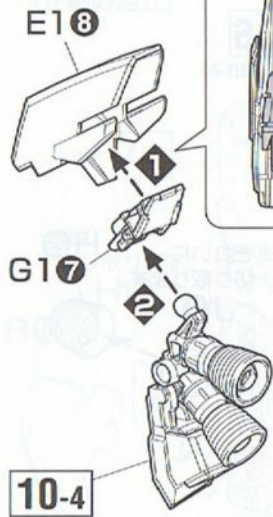
10-3



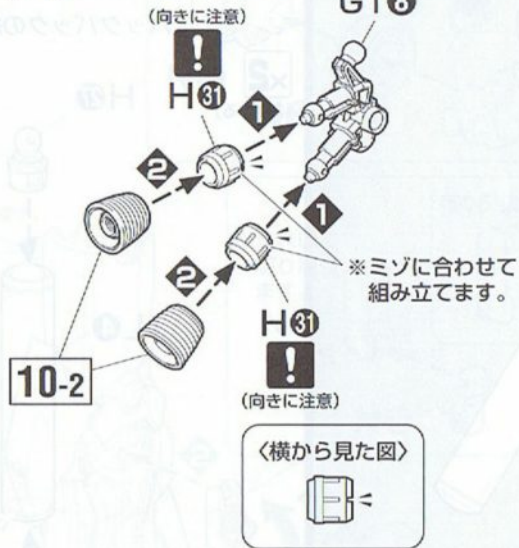
10-4



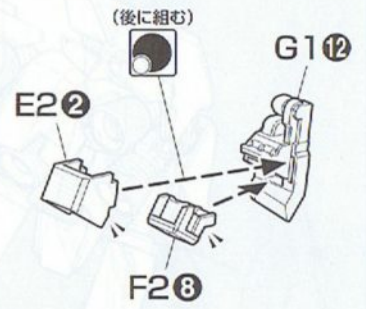
10-5



10-6

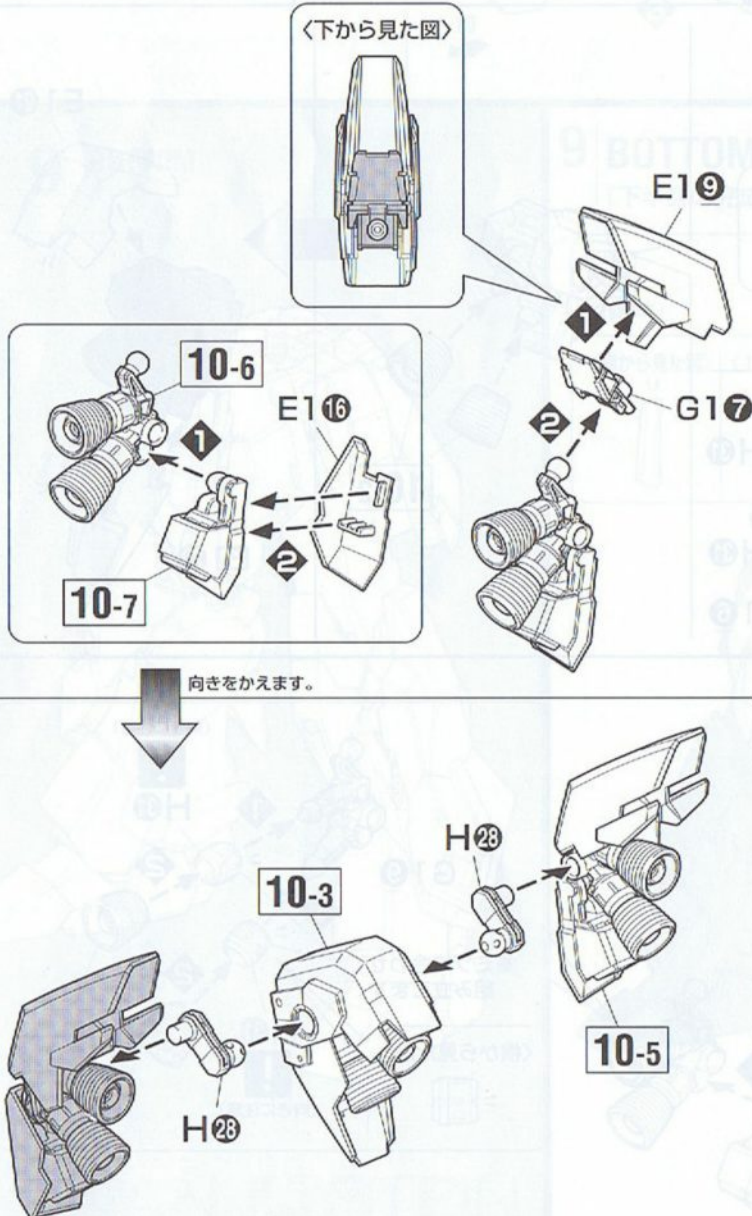


10-7

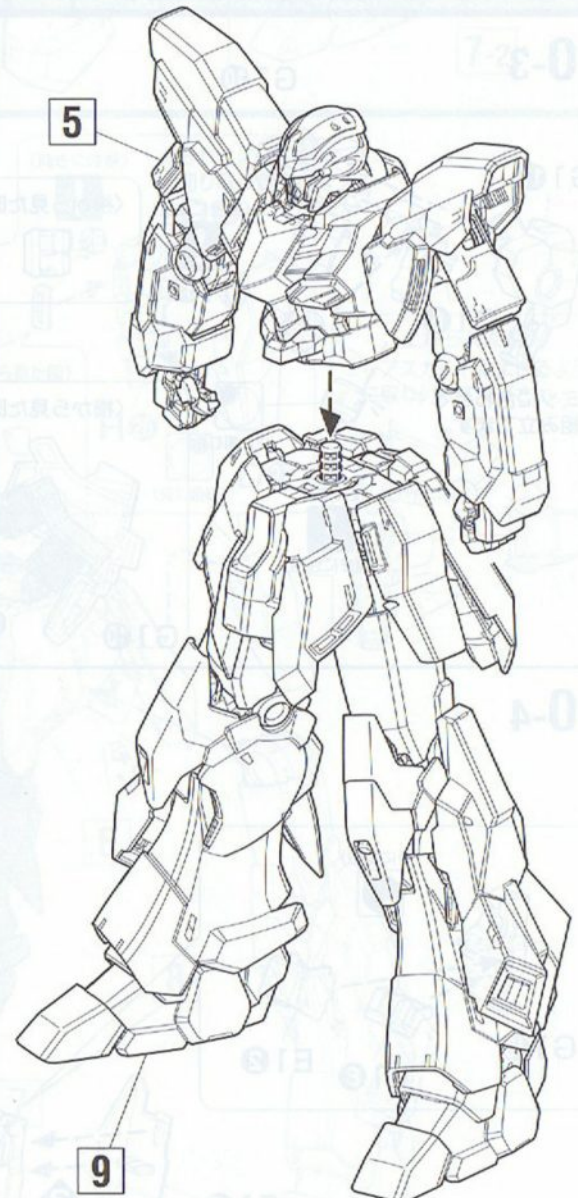


10-8 COMPLETION

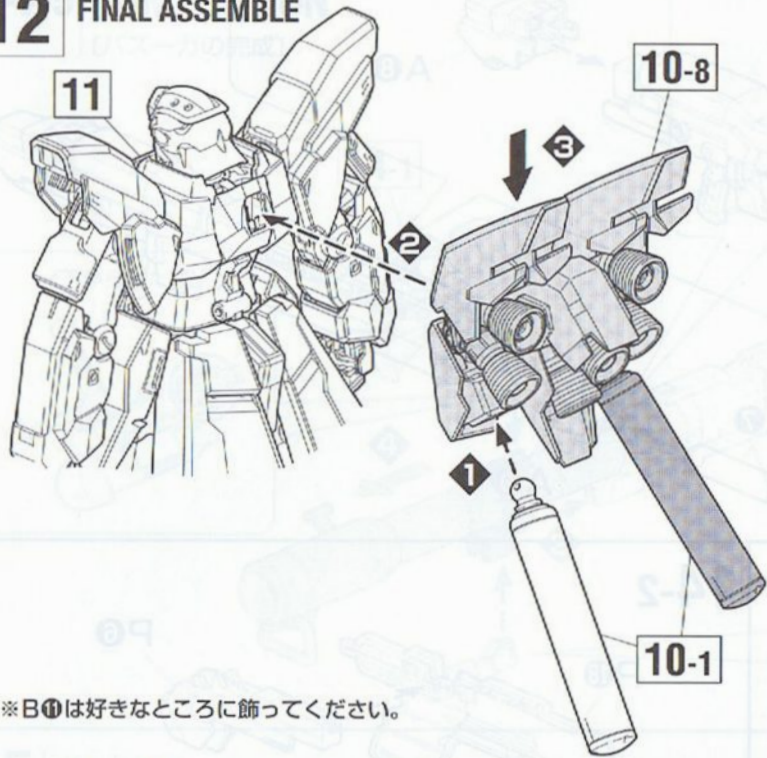
〔バックパックの完成〕



11 BODY ASSEMBLE



12 FINAL ASSEMBLE

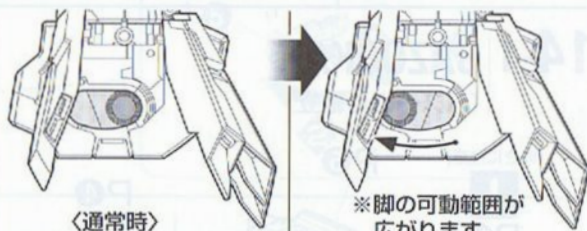


※B①は好きなところに飾ってください。

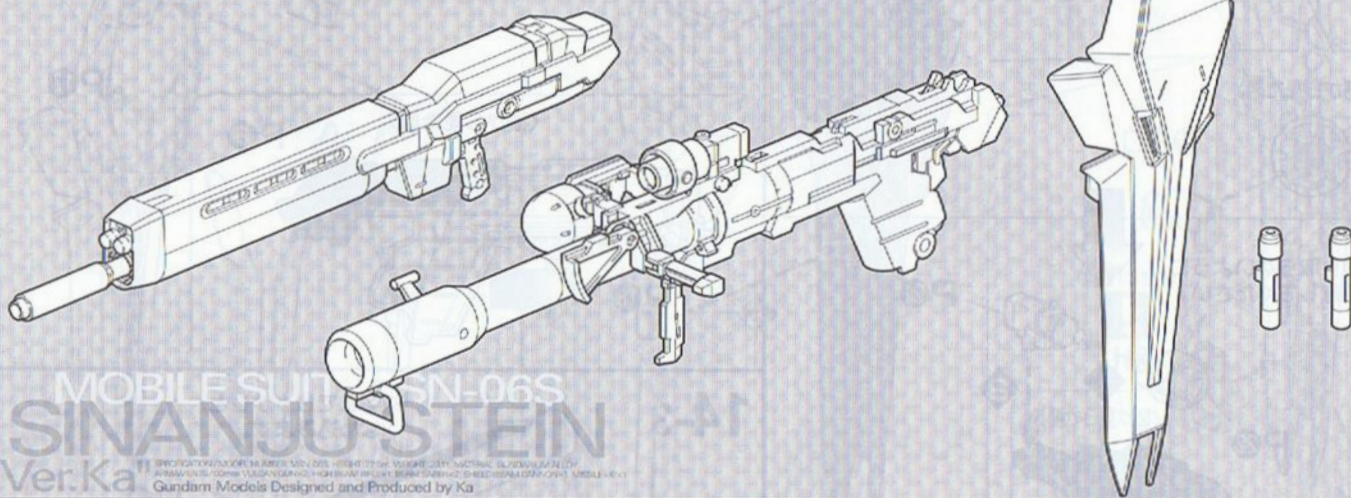
〈コックピットの開き方〉



〈脚の可動範囲の広げ方〉



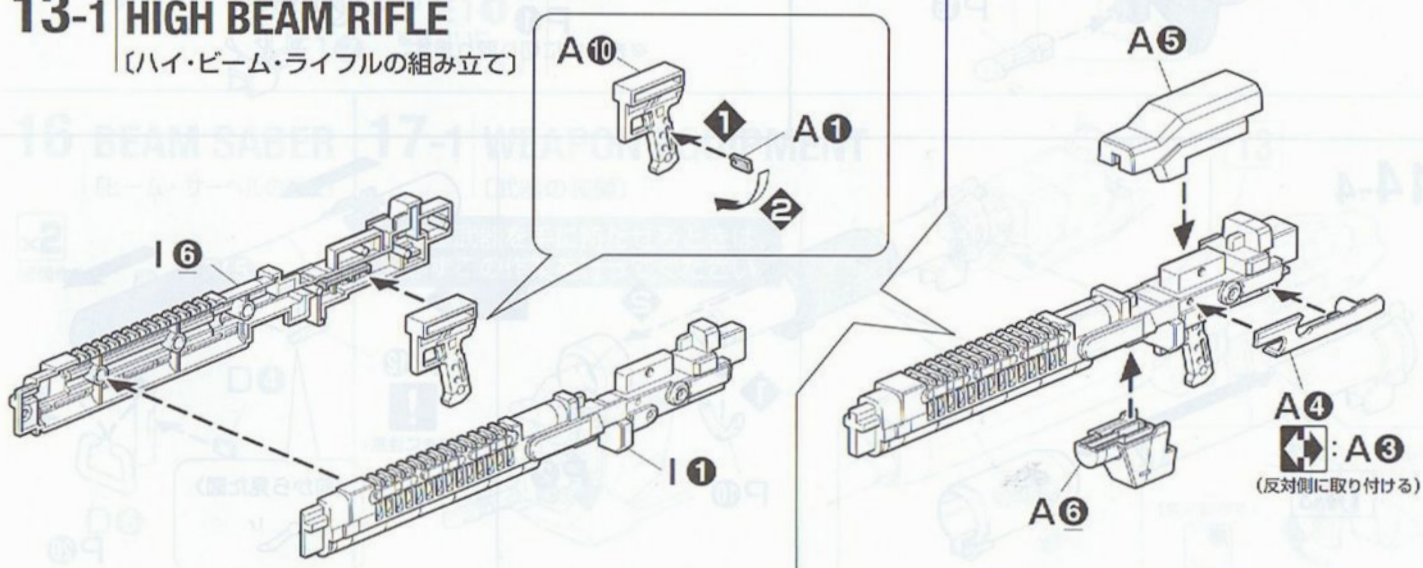
13 HIGH BEAM RIFLE 14 17 BAZOOKA 15 SHIELD 16 BEAM SABER



MOBILE SUIT MSN-06S
SINanjuSTEIN
"Ver. Ka"
Gundam Models Designed and Produced by Ka

13-1 HIGH BEAM RIFLE

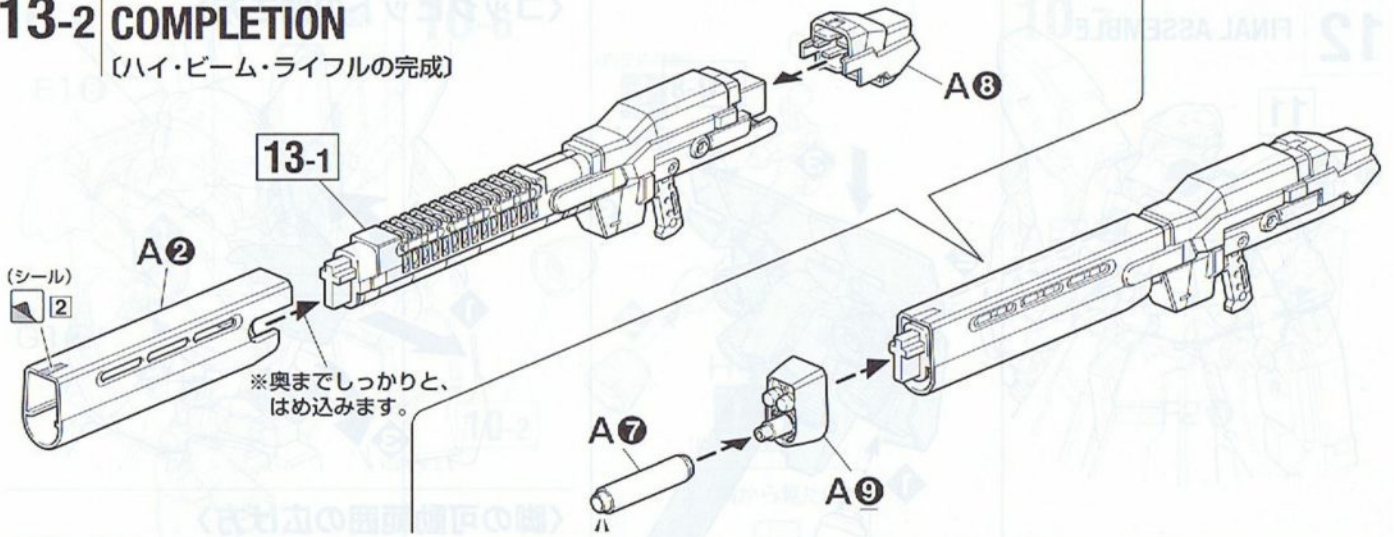
〔ハイ・ビーム・ライフルの組み立て〕



PARTS LIST BODY HEAD ARMS UPPER BODY WAIST LEGS BOTTOM BACK PACK FINAL ASSEMBLE WEAPONS WEAPON EQUIPMENT

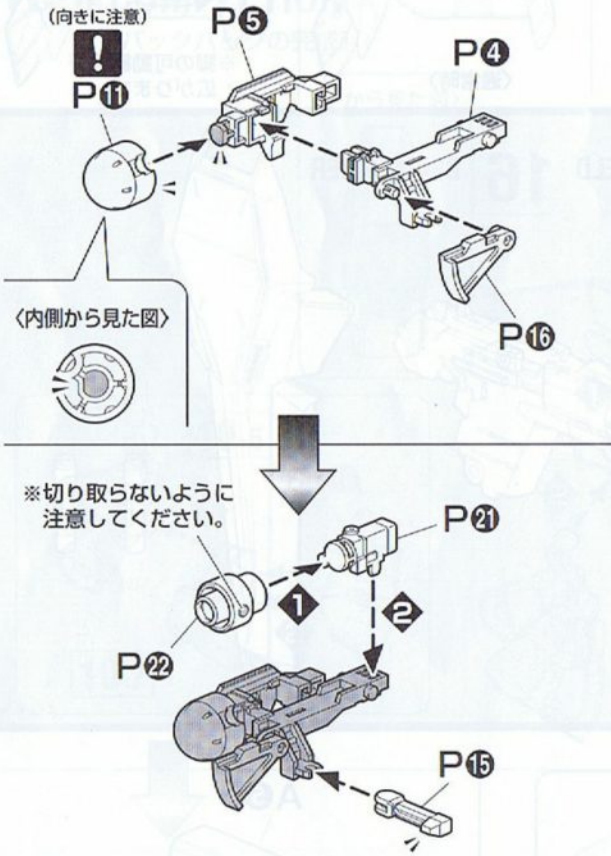
13-2 COMPLETION

(ハイ・ビーム・ライフルの完成)

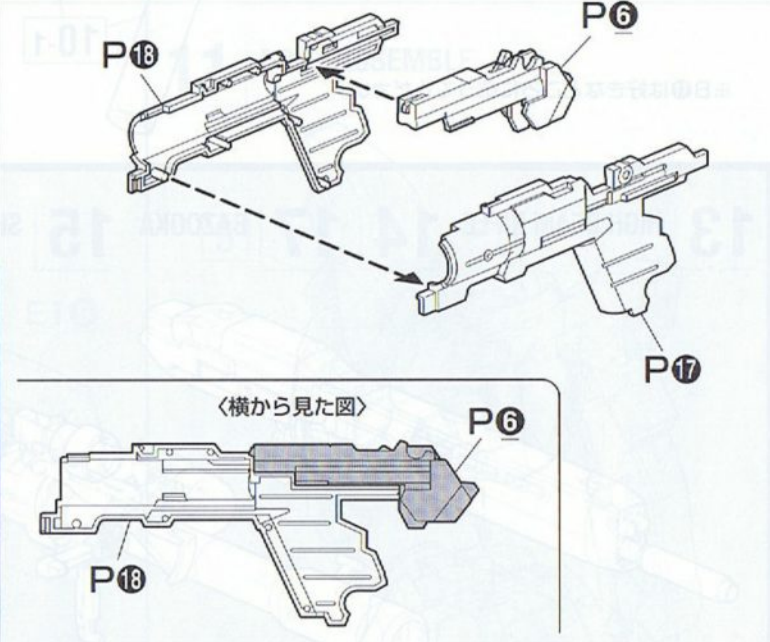


14-1 BAZOOKA

(バズーカの組立)



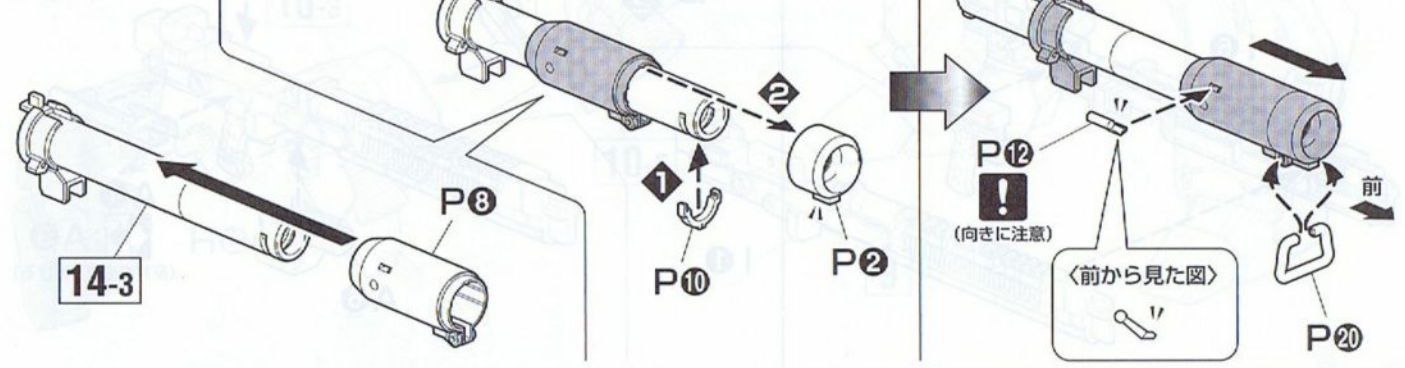
14-2



14-3

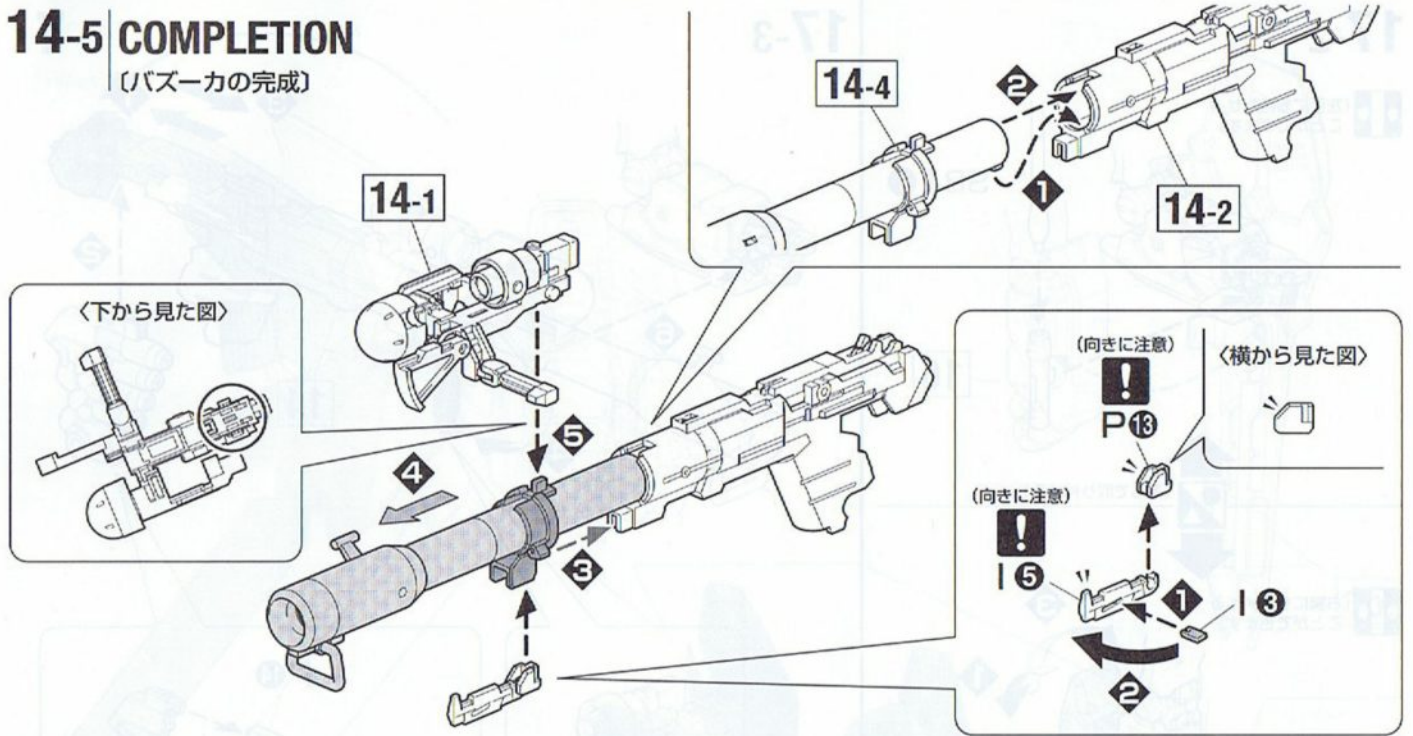


14-4



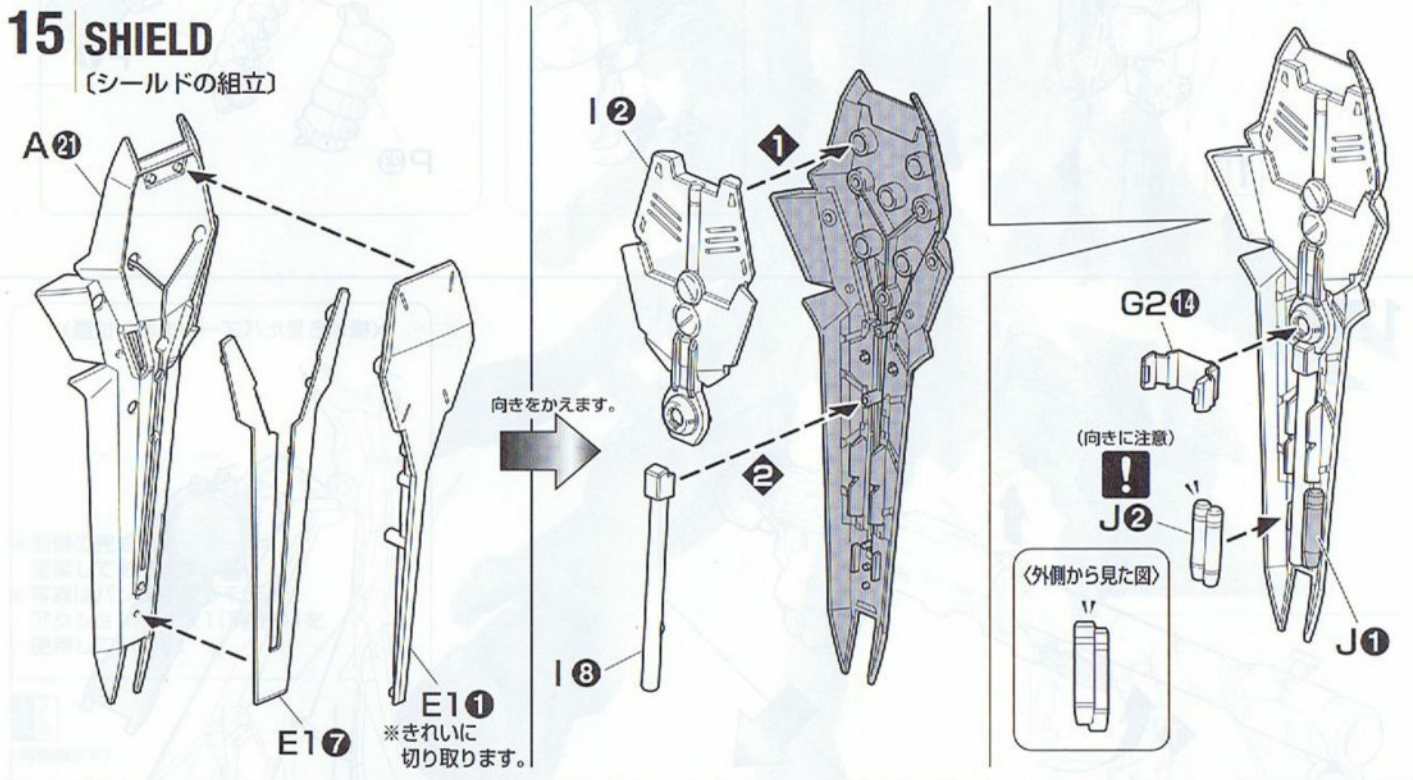
14-5 COMPLETION

[バズーカの完成]



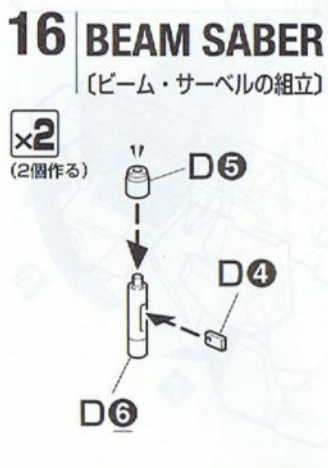
15 SHIELD

[シールドの組立]



16 BEAM SABER

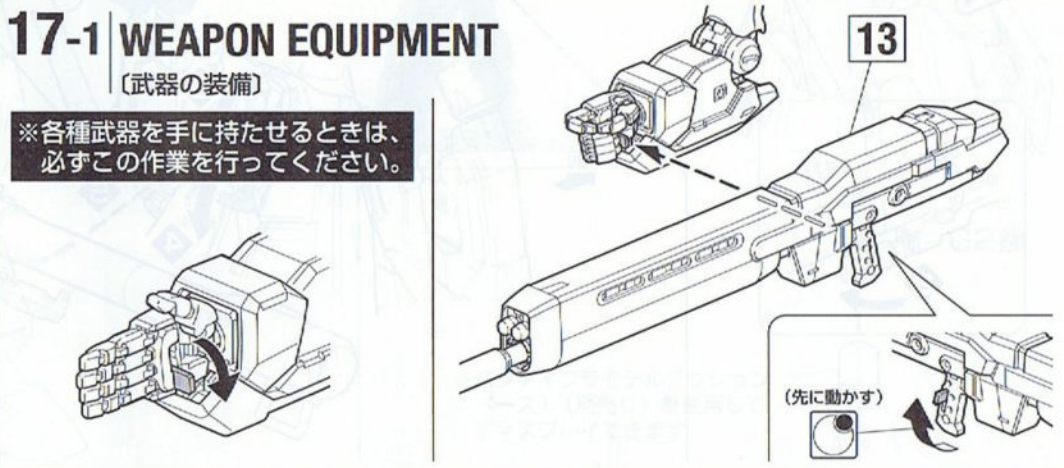
[ビーム・サーベルの組立]



17-1 WEAPON EQUIPMENT

[武器の装備]

※各種武器を手を持たせるときは、必ずこの作業を行ってください。

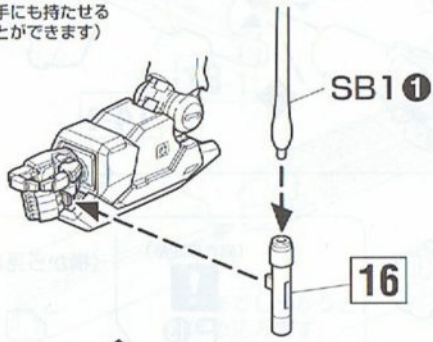


PARTS LIST BODY HEAD ARMS UPPER BODY WAIST LEGS BOTTOM BACK PACK FINAL ASSEMBLY WEAPONS WEAPON EQUIPMENT

17-2



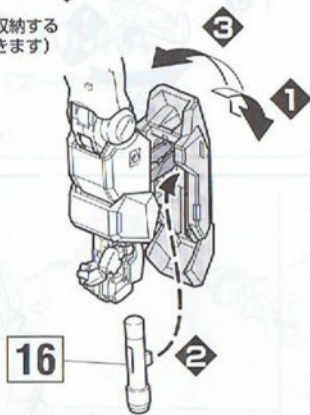
(左手にも持たせる
ことができます)



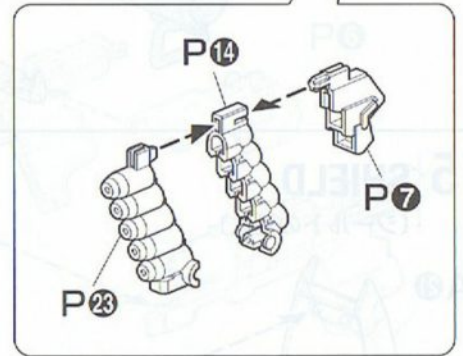
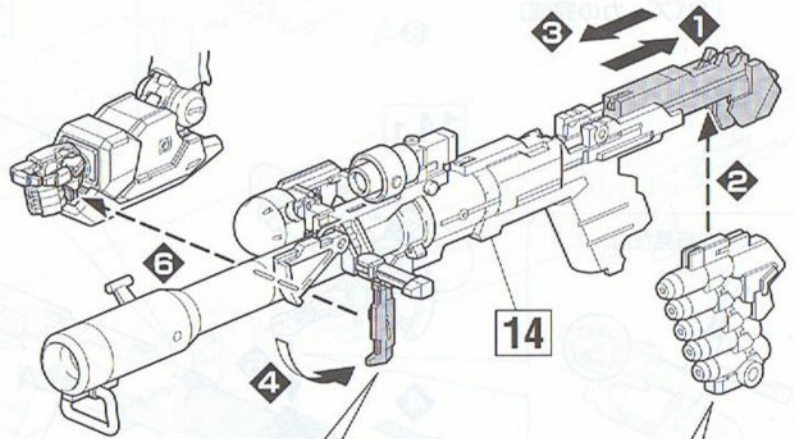
(選んで取り付ける)



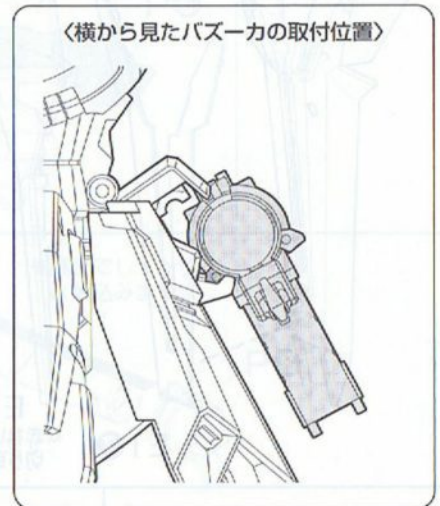
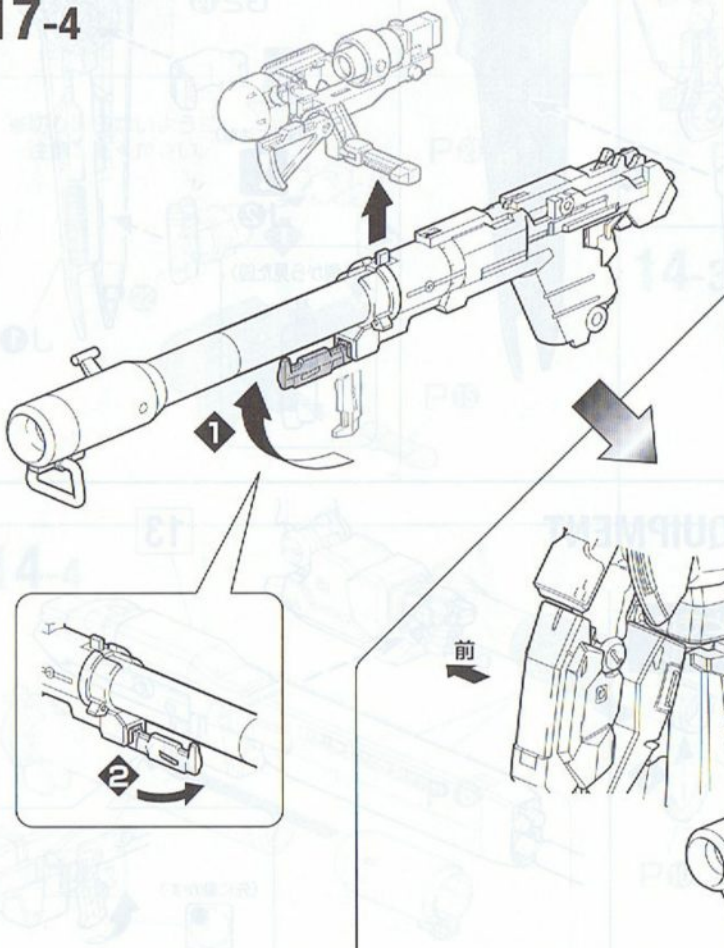
(右腕にも収納する
ことができます)



17-3

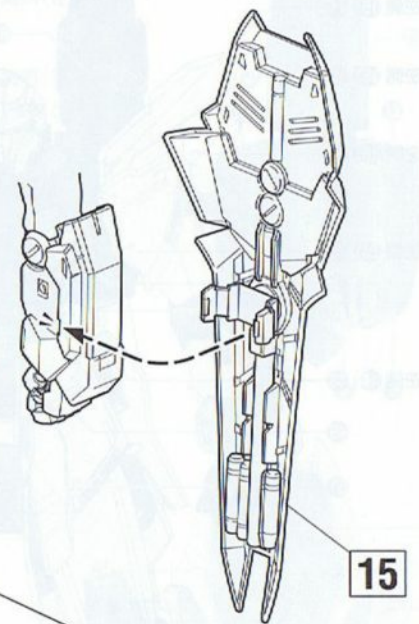
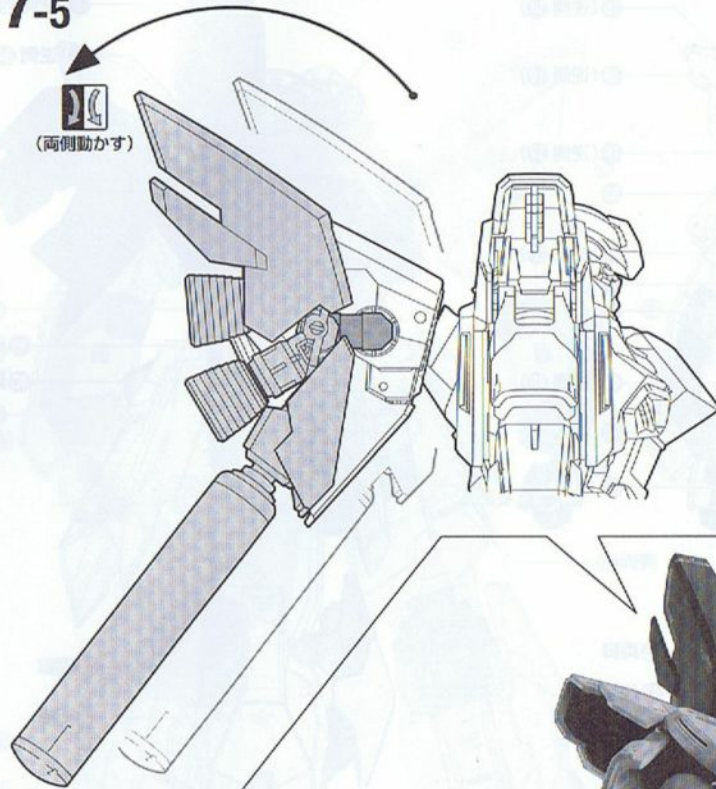


17-4



17-5

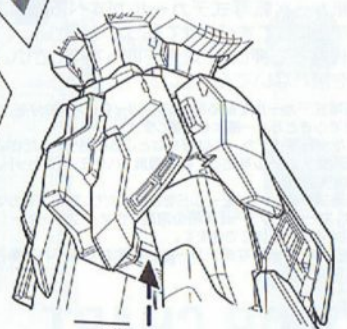
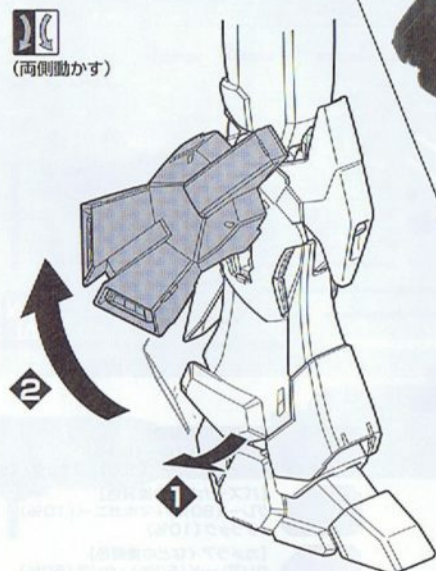

(両側動かす)



15

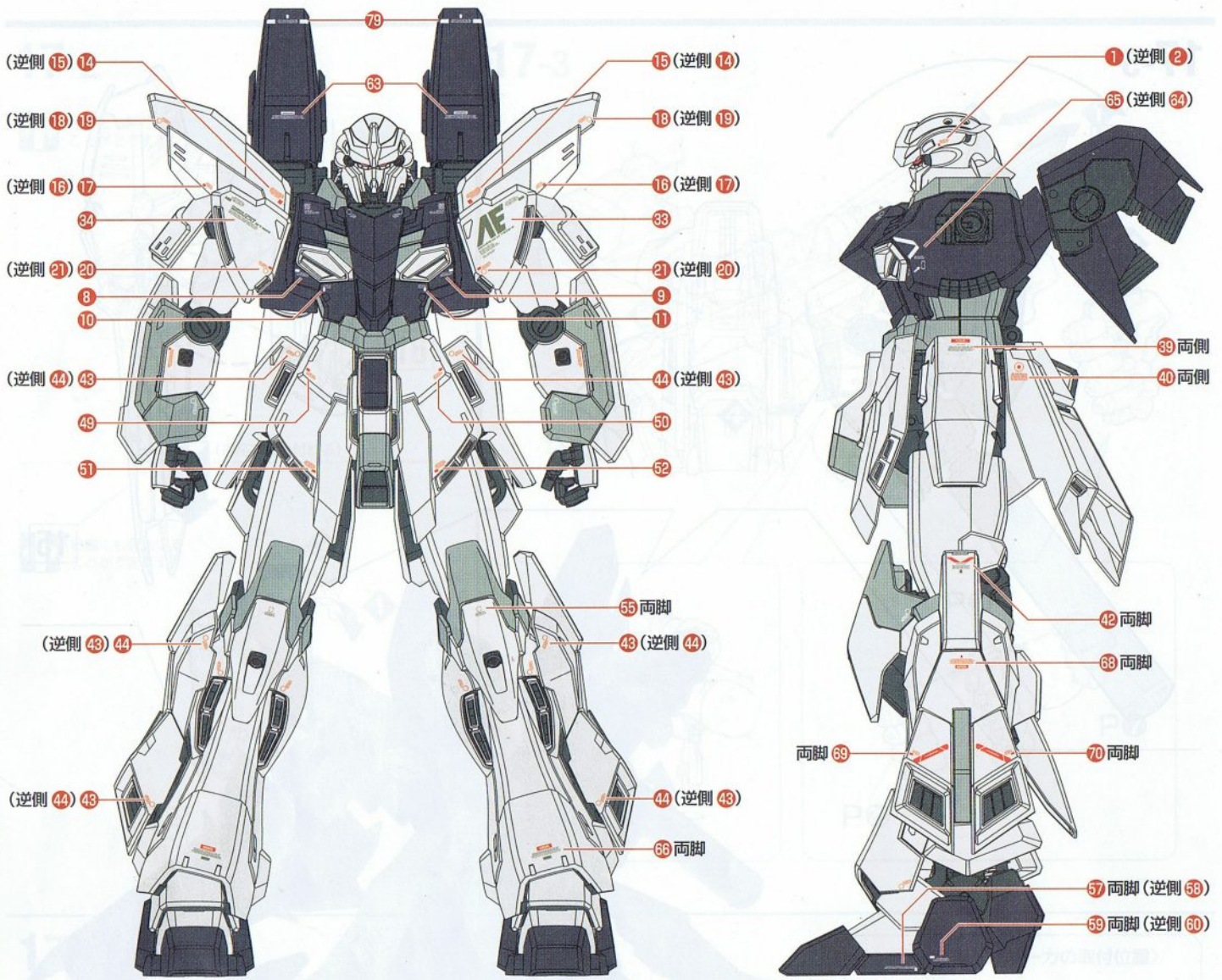
※画像の完成品は
塗装してあります。
※写真はバンダイプラモデル
アクションベース1(別売り)を
使用しています。


(両側動かす)



17
G2①

※バンダイプラモデルアクション
ベース1(別売り)を使用して
ディスプレイできます。



COMPLETE DIAGRAM for painting and applying decal

この水転写式デカールはプラモデルオリジナルのもので、貼付指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

■水転写式デカールの貼りかた

1. 使う水転写式デカールを切り取り、ぬるま湯に3秒程度浸し、ピンセットで引き上げます。
2. 台紙から水転写式デカールがすべるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。
3. 綿棒などで押し、気泡を取ってください。かわくまでは、手を触れないでください。

- ※水転写式デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。
- ※余った水転写式デカールは好きなところに貼ってください。
- ※水転写式デカールを貼るための道具（ハサミ、ピンセット、綿棒など）は、別にご用意ください。
- ※水転写式デカールがモールドをまたいだり、乾いてはがれる箇所につきましては、マークソフター（専用の溶剤）やマークセッター（それぞれ別売り）を使用することで対応できます。
- ※可動部などは水転写式デカールがこすれてはがれる場合がございますのでご注意ください。

COLOR CHART used paints and mixture ratio

- ※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
- ※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
- ※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
- ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

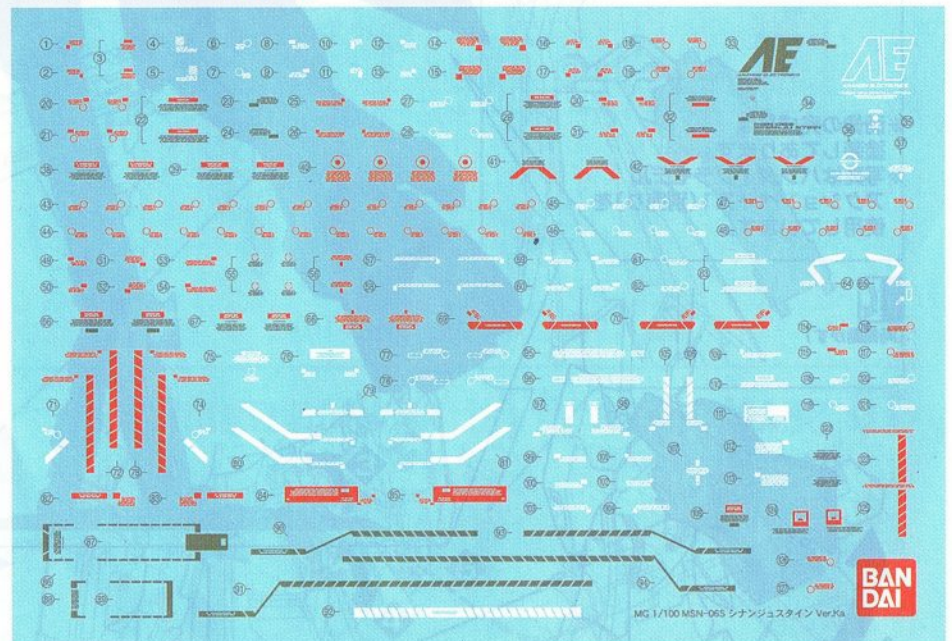
フル・フロントル

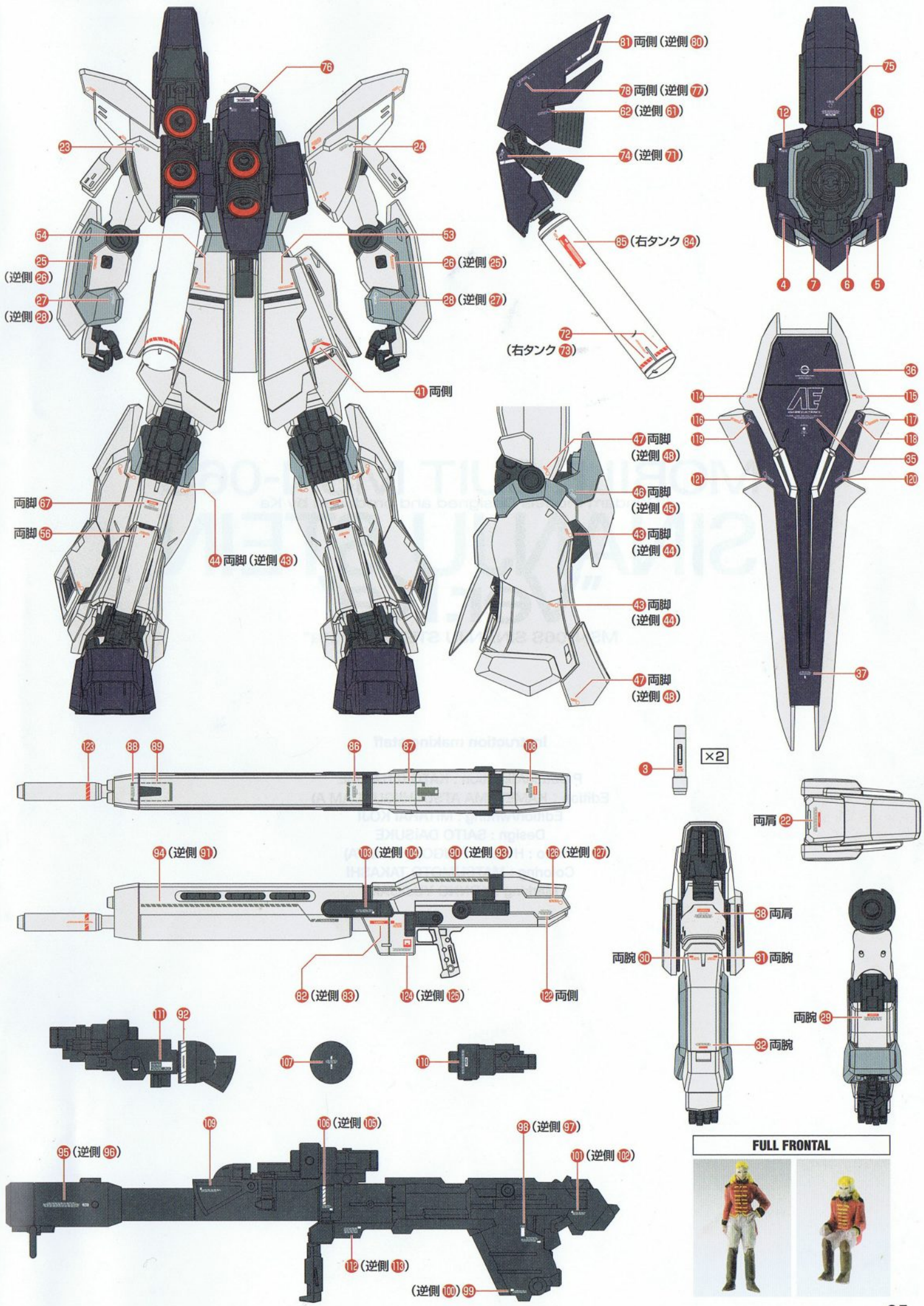


シナンジュ・スタイン



■水転写式デカール 1~127







MOBILE SUIT MSN-06S
Gundam models Designed and produced by Ka
SINANJU STEIN
"Ver.Ka"

MSN-06S SINANJU STEIN "Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition : KAMEYAMA ATSUSHI(GUNDAM A)
Edition/writing : MITARAI KOJI
Design : SAITO DAISUKE
Photo : HONDA KEIGO(ENTANIYA)
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI(JAM)